

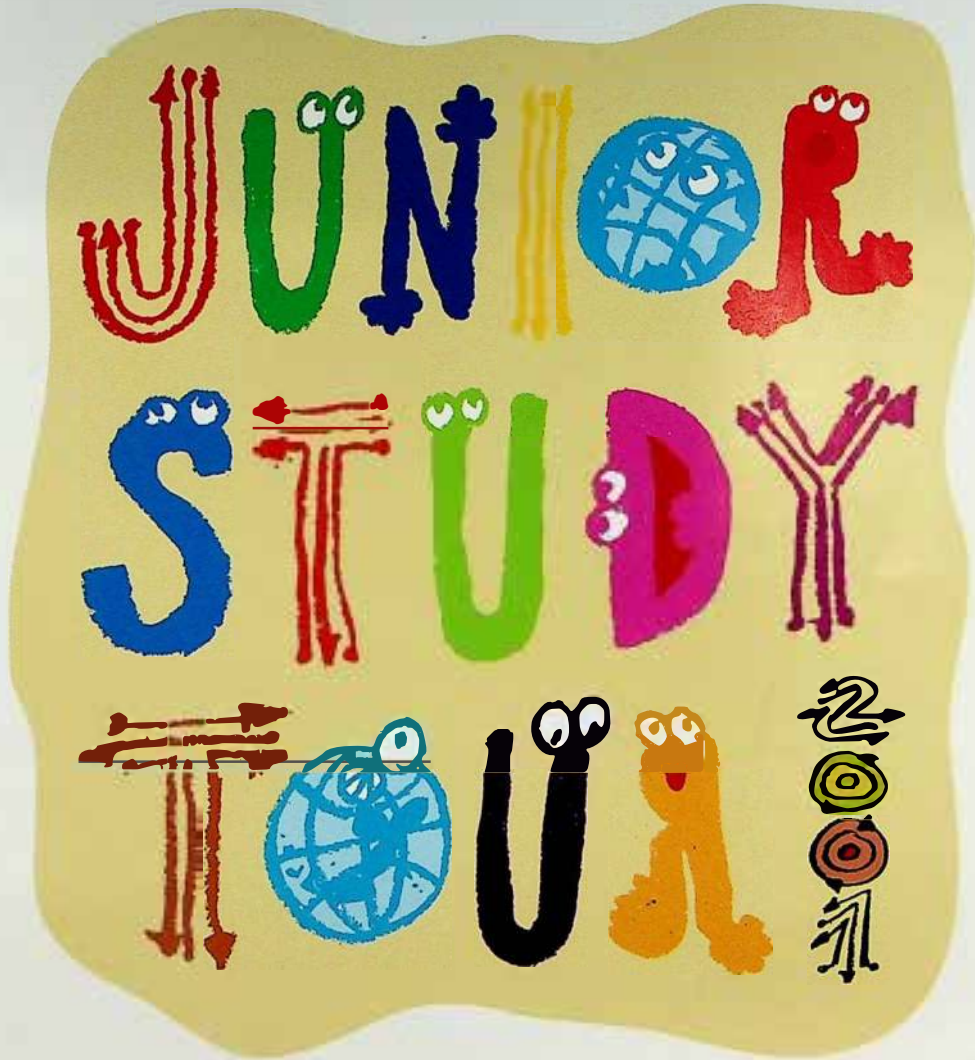
課内保存用

※配付厳禁※



# 第3回世界のウチナンチュ大会

Worldwide Uchinanchu Festival in Okinawa 2001



ジュニアスタディーツアー  
報告書

## Junior Study Tour 2001

第3回世界のウチナンチュ大会実行委員会



# ジュニアスタディーツアー報告書

## ● 目 次 ●

■発刊のことは	大会実行委員会 会長 稲嶺 恵一	1
■概要		2
■カリキュラム		3
■全日程		4
■実施日程		
海外児童生徒出迎え		6
第1日目		8
第2日目		12
第3日目		16
第4日目		20
第5日目		24
第6日目		28
第7日目		32
海外参加者見送り		36
■ジュニアスタディーツアーに参加して		
海外参加者		39
県内参加者		83
■資料編		
開講式・オリエンテーション		109
海外参加者募集概要		110
県内参加者募集概要		111
ジュニアスタディーツアーの評価と反省点		116
協力団体（ボランティア団体等）		117
制作物		118
関連記事		120
感想文人名別索引		
・海外参加者		122
・県内参加者		123



## 発刊のことば

第3回世界のウチナーンチュ大会のプレイベントとして、2001年7月に「ジュニアスタディーツアー」が行われました。

海外12カ国から県系人の児童生徒50名が来県し、県内50名の児童生徒とともに、沖縄の歴史、文化、自然、平和についての体験学習を行い、母県・沖縄への理解を深めることができました。

沖縄の美しい海とやんばるの自然、首里城の美しさ、三線の音色、エイサーの勇壮なリズム、ホームステイ先での楽しい団らんなどなど、参加者の皆さんのそれぞれの胸の中には、ツアーの間に体験したさまざまな思い出がたくさん収められていることと思います。

ジュニアスタディーツアーの実施により、世代交代が進みつつある海外県系人社会の若い年齢層を対象にウチナーンチュアイデンティティーの継承が図られる一方で、県内の子供達にとっても、海外の子供達と交流するいい機会となり、沖縄を中心にした若い世代の国際ネットワークが一層広がりました。

このスタディーツアーで育んだ友情を大切に、参加された皆さんが、これからも国際的視野を一層広げ、将来、国際交流・協力の担い手として御活躍されることを期待するものです。

ツアー終了後、生徒の父兄や海外県人会など、多くの関係者の皆さんから、この事業に対する高い評価をいただくとともに、この事業を継続して行ってほしいとの要望が寄せられています。その要望を受け、県としてはジュニアスタディーツアーを継続的に実施し、海外県系人社会との結びつきを一層強化していくことにしています。

この報告書は、ジュニアスタディーツアーの記録として、ツアーの全日程の内容と写真、そしてツアーが終わってからの参加児童の感想文等をまとめたものです。参加者の皆さんのよき思い出となるとともに、この報告書が今後母県への関心を高め、交流の促進の一助として活用されることを希望いたします。

終わりに、ジュニアスタディーツアーの実施にあたり、御尽力いただきました関係者の皆様に改めて心から感謝を申し上げます。

平成13年9月30日

第3回世界のウチナーンチュ大会実行委員会  
会長 沖縄県知事 稲嶺 恵 一

## 1. 目的・内容

「第3回世界のウチナーンチュ大会ジュニアスタディーツアー」は、海外県系人社会の児童生徒を沖縄に招待し、沖縄の歴史、文化、自然、現在の社会状況の体験学習と、沖縄の児童生徒との交流プログラムを通して、母県・沖縄とのきずなを深めることにより、県系人社会の発展とウチナーンチュネットワークを担う人材育成に貢献する目的で第3回世界ウチナーンチュ大会のプレイベントとして実施。

## 2. 参加者

- 海外児童生徒 50名（満10歳以上の小・中・高校在学学生）
- 県内児童生徒 50名（小学4年生～高校生）

## 3. 実施期間

- 2001年7月23日（月）～29日（日）

## 4. 主催

- 第3回世界のウチナーンチュ大会実行委員会

## 5. 特別協賛

- 日本航空株式会社・日本トランスオーシャン航空株式会社

# ■ カリキュラム

学習テーマ	カリキュラム	日程	学 習 内 容	目 的
歴史学習	県立博物館 見学	7/24	(1)フィルム鑑賞 ＜戦前の人々の暮らし＞ (2)昔の生活道具体験コーナー (3)常設展示見学	自らのルーツである沖縄の起源をたどることで歴史・文化を知り当時の人々の生活など身近な視点からも、沖縄の独自性を理解する。
	首里城見学	7/24	(1)御庭、下御庭、首里杜館等見学	ユネスコに登録された、首里城跡・今帰仁城址を見学し、沖縄の特徴ある建築・外交・歴史などを広い視点で学ぶ。
	今帰仁城址 見学	7/28	(1)今帰仁城址のつくりと歴史	
平和学習	南部戦跡 めぐり	7/25	(1)1 フィートフィルム鑑賞 (2)沖縄県平和祈念資料館 見学 (3)第32壕軍跡 見学 (4)健児の塔 見学 (5)平和祈念堂 見学	太平洋戦争において、日本で唯一の地上戦があった沖縄戦の跡を追うことにより、沖縄戦の歴史的教訓をしっかりと受け止め、平和の意味を考える。
文化芸術学習	1) 三線 2) 琉球舞踊 3) 空手 4) エイサー	7/26	(1)三線 三線の扱い方、音の出し方、短い曲の演奏 (2)琉舞 足の運び、手の動き、短い曲の習得 (3)空手 手足の運び、基本の型 (4)エイサー パーランクーを使ったエイサー演舞	沖縄の伝統文化、芸能を実際に体験することにより、その素晴らしさを実感させる。また、基礎を習得することで、今後の伝統芸能を学ぶことへの足がかりとする。
自然学習	やんばる エコツアー	7/27	Aコース (1)野生生物保護センター (2)比地大滝トレッキング Bコース (1)サキシマスオウノキ見学 (2)慶佐次マングローブ見学 (3)ウップアマ海浜散策	沖縄の大自然が色濃く残るヤンバルの自然を体験することで、沖縄独特の動植物の生態を学び、自然とのふれあいを通してその大切さを学ぶ。

■ 全日程

時間 \ 日付	7月23日(月)	7月24日(火)	7月25日(水)
9:00	<海外児童>朝食	朝食 ◆ユースホステル食堂にて全員 ホームルーム◆体協会館にて	朝食 ◆ユースホステル食堂にて全員 ホームルーム◆体協会館にて
10:00			
11:00		<クリーン キャンペーン参加> ●セレモニー・アトラクション参加	
12:00	昼食	●大型バスにて移動	<平和学習> 平和祈念資料館
13:00	●徒歩にて移動	昼食(弁当)	昼食(弁当)
14:00	<開講式> <オリエンテーション> ●武道館(第一練成道場) ●ツアーの目的説明 ●リーダー・引率者の役割説明 ●集団生活ルール説明 ●スケジュール説明	<県立博物館> 学習(歴史)	◆平和祈念資料館 ◆平和の礎 ◆第32軍壕跡 ◆健児の塔 ◆平和祈念堂
15:00		●首里城へ徒歩で移動	
16:00	<那覇市街地散策> ●7名=1チーム構成	<首里城見学>	
17:00			宿舎着 ●シャワー等自由時間
18:00	●徒歩にて県庁に集合	宿舎着 ●シャワー等自由時間	夕食
19:00	<ウェルカムパーティ> ◆県庁地下1Fレストラン	夕食&ホームルーム	<平和意見交換会> ◆ユースホステル研修室にて
20:00	●大型バスにて移動 就寝 <沖縄国際ユースホステル泊>	就寝 <沖縄国際ユースホステル泊>	就寝 <沖縄国際ユースホステル泊>



7月26日(木)	7月27日(金)	7月28日(土)	7月29日(日)	
10 朝食&ホームルーム 10 ●大型バスにて移動	6:40 朝食&ホームルーム <b>事前学習(バス内)</b>	朝食 <b>ホームルーム</b>	引続きホームステイ先	
文化芸能体験学習> 三泉洞王国村会場	<やんばる エコツアー>  A・野生生物保護センター ・比地大滝沢登り  B・サキシマスオウノキ ・慶佐次マングローブ ・ウップアマ海浜散策  昼食		6:40 朝食&ホームルーム 事前学習(バス内)	
二線		<今帰仁城址見学>		
琉球舞踊		ホームステイ家族迎え		
選手				
食(弁当) ニイサー体験			◆北谷町美浜通過 昼食	
			<コンベンション センター見学>	
宿舎着				
ビーチレク リエーション> 見納村名嘉真海岸にて		●沖縄国際ユース ホステル到着 ホームステイ家族迎え		
	・宿舎着		・宿舎着	
シャワー等自由時間	●シャワー等自由時間		<修了式> ◆バシフィックホテル 万座の間 ●修了証交付 ●記念品贈呈(アルバム) <さよなら パーティ> 体験発表会	
夕食 キャンプファイヤー	・夕食	ホームステイ		
寝	就寝		就寝	
コンベンションキャロライナ泊>	<ベンションキャロライナ泊>	<ホームステイ>	<沖縄国際ユースホステル泊>	

# 実施日程〈海外児童生徒迎え〉

メキシコからの参加者を始めに、次々と海外から来沖した。



フロリダ沖縄県人会  
フェイエットビル沖縄県人会  
ジャクソンビル沖縄県人会  
DFW沖縄県人会  
アトランタ沖縄県人会

メキシコ沖縄県人会



ボリビア沖縄県人会



在亜沖縄県人会



バンクーバー沖縄県友愛会  
レスブリッジ沖縄県人会



北米沖縄県人会  
サンディエゴ沖縄県人会  
ユタ州沖縄県人会



ペルー沖縄県人会

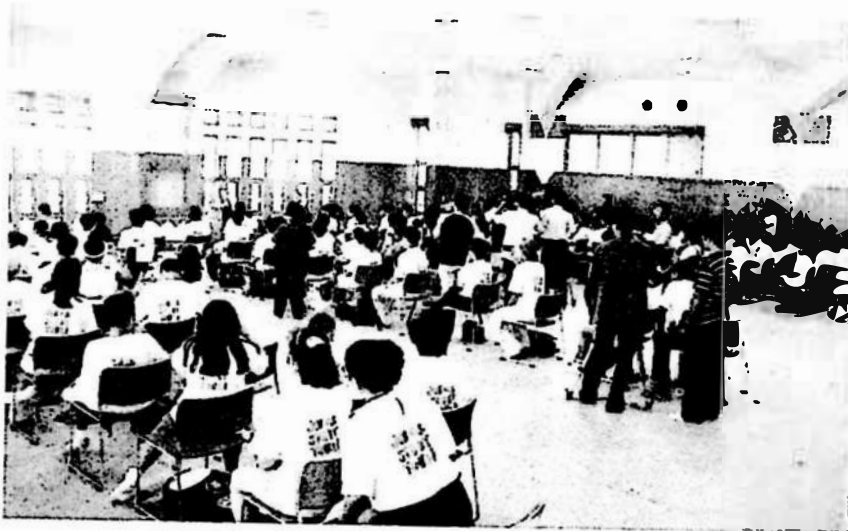


ワシントンD.C. 沖縄県人会  
ニューヨーク沖縄県人会  
遊友会  
米国東海岸沖縄県人会  
シカゴ沖縄県人会





開講式前で少し緊張気味のジュニア



知事から激励の言葉が贈られる



知事と記念撮影



平和通りの土産品店にて



那覇市街地散策（平和通り）



那覇市街地散策（国際通り）



那覇市街地散策（平和通り）



少しずつ笑顔が出てきた（ウエルカムパーティー開始前）



高校生とボランティアのステージパフォーマンスに見入るジュニア



琉球舞踊を披露する玉城彩衣さん

第3回世界のウチナーンチュ大会100日前イベントのためパレットくもじ前に集合。クリーンアップキャンペーンに参加後、イベントのプログラムで各国からの参加者による空手の演舞や三線の演奏、ダンスなどが披露された。

午後、県立博物館で沖縄の歴史のビデオを鑑賞したり、昔の沖縄の民具などを実際に身に付けてみたりした。その後、沖縄の文化を象徴する首里城を見学。壮麗な建築に深い感銘を受けた様子であった。

沖縄地方は厳しい暑さが続き、子供達は沖縄の夏の暑さに閉口したようで、自国の夏の様子などについてお互いに話し合ったりした。

時 間	行 程
7:00	●起床～点呼～洗面
8:00	●ロビー集合～朝食
9:00	●駐車場集合～点呼～乗車～パレット久茂地へ
10:00	●クリーンキャンペーン参加 〈沖縄県知事100日前宣言〉 セレモニーおよびクリーン活動参加
11:00	●点呼～乗車～県立博物館へ
12:00	●県立博物館中庭にて昼食 (弁当)
12:30	●県立博物館にて歴史学習
15:00	●集合点呼～徒歩移動～首里城へ
15:30	●首里城見学
17:00	●集合点呼～乗車～宿舎へ
18:00	●シャワー等自由時間
18:30	●夕食
20:00	●点呼～就寝 (沖縄国際ユースホステル)





知事と一緒にウチナンチュ大会100日前宣言



レポーターの方と写真撮影（パレット前広場にて）



タンゴをとりいれた新体操を披露する大城ノエリアさん



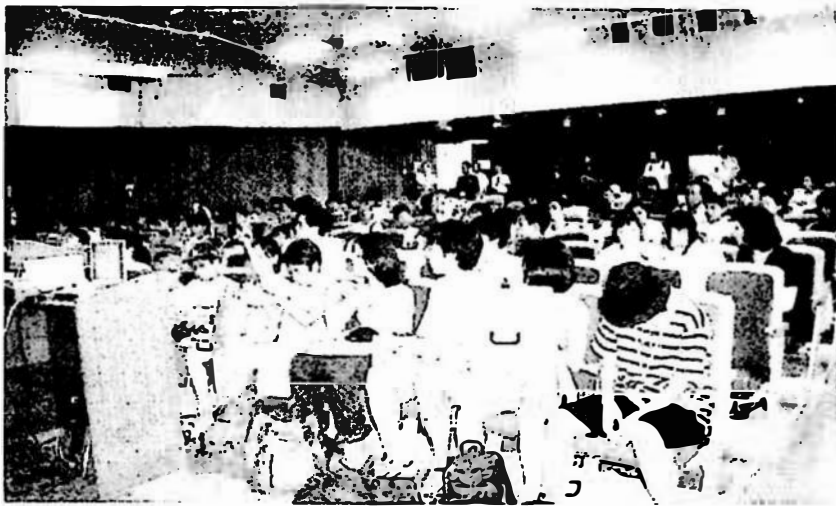
インタビューに答える松川ルカくん



歴史学習の前に昼食をとる（県立博物館中庭）



首里城についてガイドさんから説明を受ける



講堂にて戦前の人々の暮らしについてのフィルム鑑賞



フィルム鑑賞が終わり少しリラックス



いろいろな体験を通して沖縄の歴史を学ぶ



実際に昔の民具を装着してみる

平和祈念資料館では、戦争のビデオを観ながら泣き出す子や館内の説明に真剣な表情で聞き入っている子供達がいた。海外からの参加者の中には、自分の学校で受けた第二次世界大戦の内容と、ここで新しく学んだ戦争の内容の違いや犠牲者の数、戦争の悲惨さに驚いた様子だった。宿舎に帰ってからの平和意見交換会では、祖父母から聞いた沖縄戦の話と自分で新しく学んだこと、そして平和の大切さについて活発な意見が出た。

時 間	行 程
7:00	●起床～点呼～洗面
8:00	●朝食
9:00	●バスにて南部戦跡へ移動
11:00	●平和祈念資料館にて平和学習 ※1 フィートフィルムの観賞など
12:00	●昼食・平和祈念資料館にて (弁当)
13:00	●平和学習 ※平和祈念資料館内展示物 ※平和の礎 ※第32軍壕跡 ※健児の塔 ※平和祈念堂
16:00	●バスにて宿舎へ移動
17:30	●シャワー等自由時間
18:00	●夕食
19:00	●沖縄国際ユースホステル研修室にて平和意見交換会
20:00	●点呼～就寝 (沖縄国際ユースホステル)



移動の車中でのスナップ



平和の火についてガイドさんから説明を聞く



1 フィールフィルムについて説明を受ける（平和祈念ホールにて）



太平洋をバックに記念撮影（平和祈念資料館エントランスホールにて）



平和祈念資料館の見学を控えて



世界の平和を願い心をこめて折り鶴をつくる



漆塗りの像として世界最大の平和祈念像



自国での学習と沖縄での戦争と平和における印象の違いを話す海外ジュニア



他グループの発表も熱心に聞く



グループで平和についての意見をまとめる

## ■ 実施日程 <第4日目>

玉泉洞王国村にて、三線・エイサー・空手・琉球舞踊などの沖縄の伝統芸能を鑑賞後、専門家の指導によりそれぞれを実際に体験した。そのあと恩納村のビーチに移動。初めて見る沖縄の海に海外からの子供達は感激だった。夜は宿泊先のペンションにてキャンプファイヤー。子供達は身振り手振りでコミュニケーションをとることができるようになり、交流が一層深められた。

時間	行程
6:30	●起床～点呼～洗面
7:00	●朝食
8:00	●バスにて玉泉洞王国村へ移動
9:00	●文化芸能体験学習（三つのグループに分かれて体験） ※三線 ※琉舞 ※空手
11:30	●昼食、玉泉洞王国村にて（弁当）
12:30	●エイサー鑑賞・体験
13:45	●バスにて恩納村へ
15:00	●ペンションキャロライナ着 ●バスにてビーチへ移動
15:30	●ビーチレクリエーション（名嘉真海岸にて）
17:15	●シャワー等自由時間
18:00	●バーベキュー（夕食） ●キャンプファイヤー
20:00	●点呼～就寝（ペンションキャロライナ）





空手の基本動作の指導を受けるグループ



南風原高校の生徒から棒術の手ほどきを受ける



三線体験学習のグループ



琉舞の基本動作を習うグループ



カチャーシーにもトライ



玉泉洞王国村のプロからエイサーを習う



遊びも勉強も一生懸命



キャンプファイヤー



キャンプファイヤーのあとはダンスパーティー



夕食はバイキング形式のバーベキュー

ペンションから沖縄本島の北部に向けバスで出発。専門家のガイドによる案内で二組にわかれて比地大滝登りと慶佐次マングローブ海岸の散策を行った。

現地に向かうバスの中では専門講師による沖縄の動植物や地形についての事前説明があったのだが実際見ると聞くのとは大違いで、到着したとたん到大さわぎだった。比地大滝沢登りコースでは子供達は岩によじ登ったり滑って転んだりしながら進んでいき、滝つぼに到着したとたん、引率者の注意も最後まで聞かずに次々と歓声を上げ飛び込んだ。

時 間	行 程
6:30	●起床～点呼～洗面
7:30	●朝食
8:00	●バスにてやんばるへ ※車内にて事前学習
9:30	●やんばるエコツアー ※Aコース野生生物保護センター →比地大滝沢登り ※Bコースサキシマスオウノキ見学 →慶佐次マングローブ→ウップアマ海浜散策
12:00	●昼食 (おにぎり)
13:00	●引き続きやんばるエコツアー
15:00	●バスにて宿舎へ移動
16:00	●シャワー等自由時間
18:00	●夕食
19:00	●感想発表会
20:00	●点呼～就寝



やんばる野生生物保護センターにて



ボランティアガイドの話を熱心に聞く



やんばる自然環境について講義を受ける



やんばるの自然に興味津々の玉栄チャールズくん



サキシマスオウノキの前で



マングローブをバックに記念撮影



休憩をとりながら自然を満喫



比地大滝の滝つぼにて記念撮影



夕食のあとに始まったパーティー



全員でダンスパーティー

六日は今帰仁村歴史文化センターにて説明をうけ、今帰仁城址見学のあとに、ウチナーンチュ大会の行われる宜野湾市のコンベンションセンターを見学。

県内の参加はここで一度家にかえることになり、県外からの参加者たちは一泊二日のホームステイをする。

時 間	行 程
7:00	●起床～点呼～洗面
8:00	●朝食
9:00	●バスにて今帰仁城址へ移動
10:00	●今帰仁城址見学
11:30	●北部地区ホストファミリー迎え ●バスにて那覇へ移動 ※北谷町ミハマ通過(車内見学) ※昼食、車内にて(弁当)
13:30	●沖縄コンベンションセンター見学(万国津梁の鐘など)
15:00	●沖縄国際ユースホテル着 ●中南部地区ホストファミリー迎え





今帰仁城址の歴史やその構造について説明を受ける



海を眼下に休憩をとる



今帰仁城址にて記念撮影



万国津梁の鐘を見学（沖縄コンベンションセンターにて）



施設についての説明を通訳するアトラクタ県人会会長・高江洲佳代子さん



ホームステイに出発です



家族に沖縄の様子を伝える



積もる話がいっぱいです



おばあちゃんも来てくれました



ホームステイ先の確認作業をするスタッフ

パシフィックホテルにて修了式が行われる。修了書贈呈、記念品アルバムをうけとったあとはサヨナラパーティー。バイキングディナーと海外参加者による琉球舞踊や三線などのパフォーマンスを見ながら最後はカチャーシー、大会テーマソングで幕を閉じた。ツアーを通して得た友人との別れを惜しみ、再会を誓い抱き合って泣くシーンが見られた。

時 間	行 程
17:00	●修了式開始
18:00	●さよならパーティー開始
19:00	●県内参加者は各自帰宅 ●海外参加者はバスにて宿舎へ移動
19:30	●シャワー等自由時間
20:00	●点呼～就寝（沖縄国際ユースホステル）



比嘉副知事より一人ひとりに修了証が渡された



夕食をとりながらツアーの記録ビデオを鑑賞



みんなでカンパイ!



修了証を手に記念撮影



即興バンドのラティーン・アメリカーノ



レポーターの方からツアーの感想を求められる



感動、達成、そして再会を胸に



再会を約束して名刺交換



パーティーの最後はカチャーシー大会

## ■ 実施日程 〈海外参加者見送り〉

ツアーを通じて得たウチナーンチュアイデンティティーを胸に参加者たちは帰国した。









ジュニアスタディーツアーに参加して





与儀 エリカ  
(ブラジル)

私達5人が今度沖縄県から招待されて、沖縄を訪問いたしました。ご招待くださいました沖縄県知事はじめ、県の皆様ありがとうございました。また、私達をすいせんしてくださいましたブラジル沖縄県人会の皆様、本当にありがとうございました。

私は、沖縄に行くのははじめてでした。世界のくにくにから、参加したお友達といっしょにあうのははじめてでした。今まで勉強してきた日本語と英語をつかって、みんなと話ができ、とってもよかったとおもいます。

沖縄にいて一番かんじたことは青い海や、とってもきれいな空のもので、かなしい戦争があったことです。私は平和祈念公園にいて、平和のいしじや資料館を見学して、戦争のいたみをすごくむねにかんじました。沖縄の人は平和の大切さ、戦争のかなしさをよく知っていると思います。沖縄の人は平和の大切さを世界に呼びかけるべきです。

沖縄の家のやねにはシーサがおいてありました。また、かどにある家にはいしがんとうがおかれていました。そのようなブラジルとちがったしゅうかんにたいへんきょうみもちました。

はじめてあう親戚のおじさん、おばさんに大変親切に迎えてもらいました。いちどもあったこともない親戚の皆様親切にされ、血のつながりというものは大切にしなければならないと、つくづく感じました。かわいいシーサーとごうやまんをおみやげにももらいました。私のいっしょうのお守りにしたいと思います。

アメリカ、カナダ、メキシコ、ポリビア、ペルーなど、ほかの国からきた子供達も、それぞれ、言葉も習慣も違いますが、しかし、みんなウチナンチュの子供達なので、とても身近に感じ、とってもすてきなお友達になることができました。ブラジルに帰っても、他の国からきたお友達を大切に、手紙など送って、仲良くおつきあいしたいと思います。

私はこんど沖縄にいていろいろなことを見たり聞いたりし、今、もっとウチナンチュになったように思います。沖縄県人会の皆さん、素晴らしい旅と勉強の機会をあたえてくださりまして、本当にありがとうございました。毎年、このような、素晴らしい機会を、ブラジルの子供達にあたえるようお願いし、私のスタディーツアーに参加しての報告とします。ありがとうございました。



### 「ジュニアスタディーツアー」

太 田 ジオゴ  
(ブラジル)

今年は第3回世界のウチナンチュ大会が11月1日から4日間もあるが、その前にジュニアスタディーツアーという行事があって、少年少女が世界中から集まるので楽しそうだねとおじいから聞かされたときぜひ行って見たいと思い、おじいにその申し込みをお願いしたのでした。幸いにも県人会の試験にもパスして行くことが出来ました。

沖縄でおおぜいの友達ができいろいろな勉強をして初めて見る親戚にも会い大変楽しい毎日でした。これを計画し、お世話してくれた県の方々とブラジルの県人会の方々に心からかんしゃいたします。

私は、14才になるブラジルの3世です。今度のジュニアスタディーツアーでは、いろいろなものを見たり聞いたり体験することができました。家にはおじいやおばあもおりよく沖縄の話しをしてくれます。おじいが教えた沖縄のことは、ただおじい生まれた糸満市米須のことばかりでした。となりの糸満市摩文仁には平和のいしじというピカピカ光った大きな大理石の立ち並ぶいしじがあります。その石には、さった沖縄戦でなくなった20なん万人かの戦争ぎせいしゃ名が日本語のかんじできれいにかきこまれているのです。アメリカ兵や外国人ぎせいしゃの名前もたくさんはいつているそうです。私のしんせきも6名ありました。むごい戦争を思うと悲しくなりいやになりました。そのとなりには平和祈念公園を見おろすかのようにたてられている平和祈念堂があります。その中の大仏ぞうは、平和のいしじにかかっている戦死者のたましいをなぐさめるために手を合わせ目を閉じて祈っているかのように見えました。いや、それだけではない「国と国」、「人と人」の争いごとをやめ、世界中の人達が豊になり平和でくらすように思って祈っているのではないだろうか。昨日のパレストラで先生がお話していたことを思いおこしてみるとなにかしらそんなことがかんじられるのでした。

私のおじい生まれたこの地は、戦争が最後までつづいたげき戦地で、となり近所の人々、家族全員が死んでしまったところがおおいそうです。こんなはげしい戦争があっただけに、この辺一帯にはひめゆりの塔とか魂魄の塔や平和の塔などそれと同じような塔がいたるところにたてられておりました。

どうしてこんな家族の全滅をさせるほどはげしい戦争がおこったのか、なぜひどくむごい戦争をやらなければならなかったのか、私にはなにも分からないが、でもこれからこんな戦争が二度とおこらないようにあの大仏ぞうに祈りながら世界中の人々に戦争のこわさを伝え、戦争のない世界平和をうったえていかねばならないと胸につよく感じたのであります。



## 「ふるさとに帰る旅」

知 花 ムリロ  
（ブラジル）

最初に沖縄県人会の人達へ本当にありがとうございました。とってもいい旅でした。

初めに沖縄につくとびっくりしました。とってもきれいなところだったからです。そして、空港にいろいろな人達が迎えに来て嬉しかったです。

23日は、先生達のオリエンテーションを聞いたあと県知事が話をしてくれました。

ウェルカムパーティーでは遊びやダンスですごくもりあがりました。その日はアメリカの人と同じ部屋でした。アメリカの人は日本語がしゃべれなくて、話が通じ合わなかったけど、けっこう仲良くなれて良かったです。

県立博物館では、歴史の学習をしました。首里城は何回もこわされて、それで何回も建て直したということを知ったので、これからはこわさないようにしたいと思いました。

平和の礎では、戦争で亡くなった人達の名前が書いてありました。その人達は苦しんで死んでしまったと思います。なんでこんなひどい戦争をしたんだろうって、その時はずっと思っていました。資料館に入ると写真もあってみんなの心が傷ついたと思います。戦争の時の子供たちもみんな苦しんでいた。平和意見交換でのみんなの意見は大切だと思いました。

文化芸能体験では三線を選びました。とってもむずかしくて、あまりできなかったけどすごく楽しかったです。エコツアーも説明が分かりやすく良かったです。

ホームステイの家族はみんなとっても優しくかったです。次の日に海に行きました。

最後の日、起きるとちょっと悲しくなりました。みんなと別れて帰国する日でした。ジュニアスタディーツアーにいた日本の人たちも来てくれていました。とってもうれしかったです。

みんなと別れて飛行機に乗った時は泣きそうでしたが、涙を見せたくなくて泣きませんでした。それは、また、このきれいな青い空と海をもっているこの沖縄にふたたび帰れることを信じているからです。きっと帰れる・・・ふるさとの島・・・「沖縄」！

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）



崎間 ビクトル 達由鯉  
(ブラジル)

第3回世界のウチナンチュ大会に参加させていただき沖縄の文化技術、技芸の歴史などいろいろ見学しました。

2001年7月23日（月）

沖縄の政治家に接待めんそーれーいただき私たちの目的は祖父たちの母国の文化や習慣などを知るためです。

一番最初に沖縄の商店街に行き、そこではいろいろな品物が売られていました。たとえばT-シャツ、三線、ごーやーのジュース、電気せい品などありました。よるは県庁でパーティーでメキシコ、ポリビア、アルゼンチン、ペルー、米国、フィリピン、カナダ、フランス、ベネズエラ、の代表の若者たちと交流することができました。

2001年7月24日（火）

沖縄の楽隊を聞き市役所の博物館へ行きその前でべんとうをいただき沖縄がまだ農業や工芸品で生活をすごしていた時代を知ることができました。

又沖縄のシーサーが家の門にどうしておかれているかということもわかりました。それから首里城へ行きそこではとてもきちんと保存してある物を見ることができました。

2001年7月25日（水）

最初に平和の礎について、戦争についての座談会がありました戦死した人たちの名前が長いろうかにかかれてありました。私がきづいたのは日本人だけの名前だけでなくアメリカやほかの国の人たちあったことです、その長いろうかを歩いていていろいろ見て心から感激しました。夜は平和について会議がありました。戦争がどれだけ私たちに不幸なものだと感じました。みんなの願いは平和を祈ることでした。

2001年7月26日（木）

私たちは三線・空手・琉舞を勉強するため3つのグループに分かれました。沖縄の芸術のれんしゅうをはじめました、私は三味線をえらびました、そのあと沖縄の太鼓とともにおどりを見てとても楽しかったです。ビーチにも行き沖縄の海岸はブラジルの海岸とはちがうような気がしました、私たちみんな海ですこしあそびたかったです。

2001年7月27日（金）

今日は沖縄北部地方やんばるの自然の美しさめずらしい植物、沼地などを見学しました、私が面白いなと思ったのが魚が小さい時ここでそだち、大きくなると海でそだつことです、昼食の後また海岸へ行きました波が日ずらし貝殻とさんごを運んで来て時が経つとそれはくずれて砂になるということです。



2001年7月28日（土）

今日今帰仁城へ行きました、今帰仁城は昨年世界遺産と記録されました、ものすごくすばらしい建築です。

これは私のさいごの沖縄のたびです、今日午後四時から私たちは友達とわかれてそれぞれ親戚のうちにいきます。あす午後にはまた帰ります。

2001年午後四時からホテルへ帰ります、さようならパーティが行なわれます、そして証明書をうけとります、あすはブラジルへ帰ります。



### ジュニアスタディーツアーの感想

諸見里 春 美  
(ブラジル)

沖縄はブラジルとちがいととても暑かったです。沖縄の人々もとても温かかったです。

私達は温かく迎えられて、思ってもみなかった様なおもてなしを受けました。

世界のウチナンチュの青年達と友達になりお互いの国々のことを語り合い、私自身忘れられない素晴らしい時を過ごすことが出来ました。

友達になったアルゼンチンやメキシコなど南米の友達にはスペイン語もおそわりました。アメリカやカナダなど北米の人とも話をする事が出来ました。

私が一番興味を持ったのは、沖縄の博物館でした。沖縄の文化や祖先の人々がどのような生活をしていたかを見ることができました。その映画では戦争によって破壊された沖縄が映されていました。その後、生き残ったウチナンチュの方々が一致団結をして今までは日本の中で最もきれいな県であることを知り感激しました。

他に私達は、首里城の建築のしかたや色に心を奪われました。また、エイサーや三線をひいて沖縄の文化を学びました。多くのきれいなビーチも見ることが出来ました。

とても短い期間でしたが私の心に何時までも残る旅行だったと思います。

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）



宮里昌宏  
(ブラジル)

沖縄のみなさん今日は。たいへんお世話になりました。ありがとうございます。沖縄の空港についたらとても暑く感じました。ホテルからバスがむかえに来てきれいな大きなホテルに着きうれしかった。7月23日に県知事にあいさつに行きました。大きなきれいな建物で知事と会いましたが、沖縄でいちばんえらい人だと聞いて話することが出来ませんでした。ウェルカムパーティーでは、たくさんごちそうがありました。おいしかったです。国際通りはいろいろな店があり、たくさん物が売っていました。ブラジルにもあるゴーヤも売っていました。首里城、博物館はきれいで、いろいろ勉強になりました。平和の礎ではたくさんの方が亡くなったことを知りびっくりしました。戦争はしてはいけなと思いました。ブラジルチームは平和について話し合いました。やんばるのホテルでは、カナダ・アメリカ・アルゼンチン・日本の人と同じ部屋になり日本語で話して友達になりました。やんばるはとてもすずしくて山も海もきれいでした。おばあちゃんの姉弟の家にも行きました。はじめて会った人達ですが、やさしい人達でした。沖縄の方言も覚えました。「めんそうれ沖縄へ」、「イチャリバチョーデー」

沖縄はとても楽しかったです。たいへんありがとうございました。



具志堅 ノブユキ  
(ブラジル)

私の祖父母の生まれ故郷である沖縄には、いつも特別な想いがありました。6歳の時に、三味線の先生である祖父と琉球舞踊の先生である祖母から沖縄文化を習い始め、沖縄に対する祖父母の愛が無意識のうちに私の心に浸透していきました。

沖縄県の招待で、「第3回世界のウチナーンチュ大会」のプレイベントである“ジュニアスタディーツアー”に参加することができました。沖縄の美しい自然や歴史、文化、伝統芸能に触れ、そして世界遺産に登録された首里城などを訪れることができ、大変すばらしい経験ができました。

ジュニアスタディーの参加者たちとは、一緒に過ごす時間が短かったにもかかわらず、世界中の若者とお互いに分かち合い、忘れられない思い出を作ることができました。友達となった彼らと、また沖縄で会えることを楽しみにしています。

最後に、稲嶺恵一沖縄県知事に感謝申し上げます。またこのイベントにたずさわった関係者の方々にも感謝致します。そしてウチナーンチュ大会関係者の皆さん、どうもありがとうございました。



島田 バグネル 和良  
(ブラジル)

幸せ、感動、そしてサウダージ、いろいろな国から子供達が集まり開催された“ジュニアスタディーツアー”に参加して強く感じたことです。

2001年7月23日、すばらしい冒険の旅は始まり、私たちはそこで祖先の歴史について学び、そして新しい友達を作ることができました。

冗談を言ったり、一緒に笑ったり、またいろいろ問題も起きましたが、そのおかげで楽しく陽気でまた感動的な旅となりました。

このすばらしい機会を与えてくださった関係者の方々に感謝致します。このジュニアスタディーツアーに参加したことで、両親の故郷を訪れることができ、そして親戚に会うこともできました。またそれ以上に新しい友達ができることが一番大切なものとなりました。

参加者のみんなと一緒に過ごした時間は短かったけれど、友情を深めることができたし、彼らとはメールや手紙を通して、これからも交流を続けていきたいです。

みんなの記憶の中には、たくさんの思い出が残ることでしょう。そして私たちが経験したこと、新しい人々と知り合ったり新しい文化や習慣に触れあったりする機会が、他の学生達にも経験できればいいと思います。

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）



玉那覇 ノルベルト  
(アルゼンチン)

ほくはアルゼンチンの玉那覇ノルベルトです。始めに、沖縄県の皆さんにこの機会を与えてくれて心から感謝したいのです。

このツアーであったことは何でもめずらしくていい経験になったと思います。7月22日、沖縄についた時、スタッフの皆さんと一緒に親戚がいましたから新しい所においても全然心細くなかったのです。そこでみんな写真をとって、その時から外国の参加者との交流が始まりました。でも、とても長い旅行でしたので、ユースホステルに着いたとたん寝てしまいました。

一番印象に残ったことは首里城の大きさと作り方、それから平和の礎や平和の祈念公園。そこでおおくの人々が亡くなった事と平和の彫像を作るための23年間の努力などに感動しました。

それから、エイサーや空手の体験入学でウチナーンチュであることの喜びや強さを始めてしりました。エコツアーもとても珍しくてよかったです。金曜日の夜のキャンプファイヤーでは暑さに負けずに踊ったり、歌ったりしたのも印象に残りました。

土曜日はホームステイの日でした。まだ1度も会っていなかったいとこたちと、日本語かたこと、ジェスチャーとスペイン語かたことで何とかコミュニケーションがとれたのです。彼達とは、買い物をしたり、音楽をきいたりしました。

その翌日は閉校式が行われました。その夜は県内参加者と最後の日でもうおわかかれの雰囲気が出て、ちょっとかなしかったのです。けれどもみんなでおどったりして、盛り上がりました。月曜日はもう帰りの日でした。その朝、最後の那覇での散歩をして、すぐ空港へいき、みんなと涙でお別れをしながらもう一度長い旅の準備をしました。



比嘉 フェルナンド  
(アルゼンチン)

ほくはこのツアーをしてとても嬉しいです。だから、ほくはこのチャンスを与えてくれた人たちにありがとう！と言いたいのです。

このツアーでは今まで考えていなかったことがいっぱい覚えられました。例えば：

※戦争で亡くなった人々の数

※本当に昔の人々が「クバガサ」や手作りの着物を使っていたこと

※平和の大切さと良さ。そして平和のために戦争をしていたことを信じられないです。

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）

※自然の美しさ。そして、地球をきれいにするのはぼくたちのせきにんであることに気づきました。  
※ホームステイの家族との交流では日本人の生活とウチナーンチュの家族の暖かさがわかりました。  
このチャンスを与えてくれた皆様、どうもありがとうございました。



宮 城 ガストン  
(アルゼンチン)

沖縄を見学する前にジュニアスタディーツアーについていろんな考えが次々と心に浮かんだ。まず学校に行く日課を休んで外国で遊ぶための旅行だと思っていました。また、一週間という短い期間なのであまり何も見ることができないと思いました。同時に空手道が生まれた沖縄で、私のやっている流派の空手を知ることができ、前と同じように親戚を訪ねることもできるので沖縄に行く理由はありました。

沖縄に来てからこのツアーはもっと深い意味があると気がつきました。いろんな深い印象が心に残って、沖縄について持っていた考えも人生の見方も変わりました。

世界から来たいろんな子供達に会って友達になって、今までe-mailや手紙などを通して連絡しています。びっくりしたのは明るくみんなを迎えてもらったことです。それでみんなと別れてから離れた時とても寂しかったです。

沖縄に来るのは2回目です。今回短い期間を過ごしたのに、前よりウチナー文化について勉強になりました。さらに私の家族は異なるところに住んでいるのに、沖縄の習慣があります。沖縄で歴史的なところを訪ね、いろんな感動を感じました。体験したことは学校での歴史の授業と同じようなつまらないことではなく、とても楽しい学習でした。同時に日本語を習うことだけではなく、世界から外国人が多かったので、英語の練習をすることもできました。

ヤンバルエコツアーにも行きました。一番びっくりしたのはゴミが多かったことです。地球を守るのが大切だと考えさせてくれました。

空手の練習については、今、私は沖縄県知事の前で空手を演じたことを思い出して、もっと力を入れています。沖縄の空手を見るとアルゼンチンの空手のレベルが高いという気がするので誇りに思います。

最後に、沖縄県知事・ウチナーンチュ事務局のスタッフ・ボランティアの皆様我心から感謝申し上げます。みなさんによってツアーが実現できました。さらにこのツアーに参加できる機会を得たことを、アルゼンチン沖縄県人会にも感謝申し上げます。



伊 芸 ヘラルド  
(ペルー)

先祖のふるさと沖縄に着いた時、うまく言えないですが深い感動がありました。この感情は心から出てどんどん大きくなって行きます。ウチナンチュの心だと思います。どこでも自信を持って、だれにでも連帯感を持ってもてなしの心を示すという意味です。

沖縄にいるのは楽しくて忘れられない夢のようでした。外国から来たいろいろな子供たちに会って友達になってとてもよかったです。いろんなことを話して、笑って 本当にみんなと一緒にいい時をすごしました。沖縄にいる間一分一秒が楽しかったです。沖縄は小さいところなのに広い心を持っています。

沖縄では短い期間でしたが前にみんなにあったことがある感じがしました。きっと私たちは同じ習慣があって、ウチナンチュのスピリットは世代を通して世界で育てているからだと思います。ウチナンチュ大会のおかげでこのウチナーの気持ちがすごく広がっていると思います。



### ジュニアスタディーツアーの思い出

山 城 イサベル  
(ペルー)

すばらしくて強烈な経験をしたので私の心の中にいろんな感情が起こりました。今特に沖縄のツアーで新しい友達ができたことを懐かしく思い出しています。さらに沖縄の文化・習慣・芸術などを習いました。でもその中で一番大切なのは友情でした。いろんな外国から来た友達ができ、いろんな経験を共有していたので、いつも私の心に大切にしたいです。このツアーはとても素敵な経験で、私の人生がずいぶん変わってきました。今神に感謝しています、そしてみんなのおかげでこの忘れられない国際交流が可能になったので心から感謝もうしあげます。

最後に家族・自分のルーツ・友達と一緒にいい時を過ごすことは、人生で一番大切なことです。人生で一番大切なことはいつも心で守ります。

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）



大城 ノエリア  
(アルゼンチン)

ジュニアスタディーツアーについて初めて聞いた時は沖縄について広く一般的な勉強をするのだと思いました。でも子供達と色々な経験を共有して、他の国・文化・人について知りたくなりました。今、日本へ出発する前より私の見方や考えはもっと広がっています。

沖縄に着いた時一番初めにしたことは奥武山公園での短い散歩でした。そこでびっくりしたのは自然の美しさと平和の気持ちでした。その後で沖縄県立武道館に行ってオリエンテーションを行いました。ツアーの目的・規則などの話がありました。すぐにこのツアーはよく組織されていると思いました。

沖縄県知事にも初めて会いました。さらに、ウチナーンチュ大会事務局のスタッフ・イベント会社スタッフ・引率者も紹介してもらいました。その時、参加者はグループに分けられて子供達のコミュニケーションはお互いにもっと深く楽しくなっていました。

一週間の間に沖縄で一番大切なところに行きました。平和祈念公園や歴史に関係ところを訪ねました。感心したのは完璧で精密な建築と平和を大切にすることが多いことです。

毎日毎日どんどん深い印象を受けました。

このような経験によって前に沖縄の話をした祖父母と親戚との関係がもっと近くなりました。今沖縄についての話は前と反対になっています。私は現在の沖縄の話をしてあげて、祖父母と親戚は前の沖縄の話をしてくれます。

最後に沖縄県・ジュニアスタディーツアーのスタッフ・ホームステイをした沖縄の親戚、そしてウチナーンチュの心がいつまでも活きづいていることをみなさんに感謝したいです。

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）



比 嘉 盛 繁  
(ペルー)

まず、世界のウチナンチュといっしょに沖縄のすばらしい文化と地理を知って、いろんな経験を共有する機会がありましたので、感謝申し上げます。

沖縄県とペルー沖縄県人会のおかげで直接親切で明るいウチナンチュの皆様に出会うことができました。一番好きなのはウチナンチュの行動の仕方と生活でした。沖縄の人が敬意を示すこと・一所懸命がんばっていること、正直・まともな時間を守っている人が多いのに気がついてびっくりしました。沖縄は小さいところなのにいろんな地形がありますから、沖縄の地理に感動しました。さらにウチナーに住んでいる親戚に出会うこともできました。

本当にありがとうございました!!!



亀 甲 マサル  
(ペルー)

一番言伝えたいことは、このジュニアスタディーツアーのおかげですばらしい経験をして、いろいろなことを習ったことです。例えば、両親のふるさと・沖縄文化・民族・料理・沖縄の人はどんな生活をしているか。その上、様々な国の人たちに出会うことができ、いろんな文化を知るようになることもできました。本当に子供達の生活スタイルをもっと理解したくなりました。

ジュニアスタディーツアーはとても楽しかったです。友達ができ、お互いにいろんなことを習って、いつまでも覚えています。

沖縄県の皆様、心から感謝したいです。このような活動はいつも行ったらいいことだと思います。なぜかというところ世界のウチナンチュネットワークとつながりができ、もっと深い関係ができる方法だからです。本当にありがとうございました!





比 嘉 恵理子  
(ボリビア)

今回第3回世界のウチナンチュー大会ジュニアスタディーツアーに参加する事によって私は、今までで最も大きなプレゼントをもらいました。色々な国のウチナンチューとの出会い、今まで知らなかった弘達のおじいちゃん、おばあちゃんの故郷とその文化との出会いなどたくさんの出会いを体験出来ました。

それで感じた事は、沖縄の人達は、とても明るくて心のやさしい人達だと言う事と、幅広い歴史と文化を持っていると言う事です。

初日の空港の迎えの時から皆が、明るくて優しい人達だと言う事に気付きました。皆笑いながら拍手をして>Welcome to Okinawa と書いたボードを持って迎えてくれました。全然会った事もないのにすごく親しみを感じさせてくれました。

県立博物館などでは、沖縄は、昔戦争でとても苦しみ今でも戦争の影響を受けていると聞きましたが、市場で会ったおばあさん達は、みんな明るくNHKの連続ドラマちゅらさんに出てくるおばあさんにそっくりでした。とても戦争を体験したとは、思えない明るさだったので感動しました。

町を見て気付いた事は、ボリヴィアの様にゴミで埋もれてなく、とてもきれいだと言う事です。ゴミ箱もちゃんと燃えるゴミと燃えないゴミに分かれていて、使う人もそれを守っているという事です。ボリヴィアもそれを見習ってもっときれいな国になってほしいです。

海もとてもきれいなグリーンと水色に輝いていました。ボリヴィアには、海がないのでとてもうれしかったです。これからも私達ウチナンチューが誇る豊かな緑あふれる山と美しい海が、変わらないでいてほしいです。

沖縄の工芸に関して気付いた事は、着物や琉球ガラスなどでとても鮮やかな色が、使われていてとてもきれいでした。あと芸能では、エイサーがとても印象に残りました。これもやっぱり元気で明るく、沖縄らしいなあと感じました。

私もボリヴィアで、沖縄から派遣された先生にエイサーを習っているのととてもうれしかったです。

世界各国の人達と少しの時間でとても仲良くなれた事もとてもうれしかったです。今は、メールなどで連絡を取り合っていますが、このままいつか会える日まで連絡を取り合っていきたいです。

最後に第3回世界のウチナンチュー大会実行委員会、ボランティア、引率者、関係者の皆様にこんなに楽しい体験をさせて頂き本当にありがとうございました。



## 思い出に残る旅行

大 城 ニカリ  
(ボリビア)

10日間も過ぎました。でも、まだ沖縄のことが忘れられません。毎日、学校に行く時、かばんに沖縄のかがりをつけて行きます。友達にジュニアスタディの写真を見せた時みんなが「沖縄ってきれいね」と言いました。

私がちっちゃい頃からずっと沖縄に行きたいと思っていました。スペイン語、ポルトガル語、日本語が話せてたくさんの友達ができうれしくてたまりません。

沖縄ってとってもあついです。海もすごくきれいです。セミもはじめてたくさん見ました。

沖縄ってちっちゃいけどきれいなところがいっぱいあります。ヤンバルの森、海、首里城とメモリアルパーク、全部きれいだったです。メモリアルパークでたくさんの人が死んだのを知っていやでした。でも、戦争が終わってよかったです。

沖縄のエイサーってとってもすごかったです。難しく覚えるのが大変でした。でも、ちょっと覚えることができました。短い期間でした。でも、沖縄のことをいっぱい覚えました。

沖縄の人達は、私達を温かく迎えました。ホームステイで私のたくさんの親戚を知ることができてみんな喜んでいました。私はボリビアの親戚のことを聞かせました。

沖縄にまた行きたいです。ウチナンチュ大会職員の皆さん、ありがとうございました。



中 田 弘 喜  
(ボリビア)

沖縄への旅行は楽しい経験でした。平和について、戦争はしてはいけない、みんな仲良く兄弟のように生きていかなければと思いました。

いろんな国の人と友達になりました。一緒にすごしたことはいつまでも忘れられません。

ほくのおじいちゃんの家族に会いました。そして、なぜおじいちゃんがボリビアへ移住したのか分かりました。

10メートルの高さの仏像を見ました。平和をあらわしていました。

沖縄へ招待してくださりありがとうございました。ほくは参加できてよかったなと思います。



仲村 美恵子  
(ボリビア)

はじめは、沖縄に見学に行くってお父さんが言った時は、私は信じられませんでした。だって私は、こんな大きな宝くじみたいな物当たった事なかったからです。その日から私は、もう早く沖縄に行きたいと心の中がなんか眠れない程ドキドキしていました。

1日も待ちきれず私は、その日がこないかな頭の中がそれでいっぱいでした。やっと1日前の日が来て、他の国の人達とどうしようかなあとかどうして話そうかなあととても心配していましたが、お父さんが「そんなことはあまり気にしないでいつものようにやればいいんじゃないか」と言ってくれたので安心しました。次の日は学校に行って、その日はただ沖縄に行くことだけ考えて勉強のことは何も入りませんでした。授業が終わって「やったー！」と大きな声で叫びました。家に帰って足りない物カバンに積んで空港に家族で行きました。

そこで、他の人達と会って、そしてもういよいよ飛行機に乗る時間になってきました。私の家族は、私が沖縄に行くので悲しくなるのかと思ったら、反対に妹と姉がお土産を楽しみにしていることが分かりました。そこで家族と別れて飛行機に乗りました。飛行機に乗るのも初めてだったのでドキドキしました。私は飛行機の中でとてもいい気持ちでした。

沖縄に着いて「ここが沖縄だ！」と頭の中で言っていました。そこからホテルへ行き荷物を置いてぐっすり眠りました。

沖縄で一番感動したのは、海がすごく綺麗なことでした。沖縄では友達がたくさんできてとてもうれしく楽しくすごしました。私にとってすごく優しかった人達は、日本の子供達でした。一番残念なのは、目の前にある海に入れなかったことです。でも、次沖縄に行った時は必ず海に入りたいです。

私は沖縄に行って一番よかったと思います。そして、絶対沖縄のことは忘れません。みんなのお陰で私にとって一番大切な思い出が作れました。ありがとうございました。



古謝景士  
(ベネズエラ)

私はベネズエラの古謝景士ラウルと申します。まずジュニアスタディーツアーに参加することができ、沖縄県に感謝したいです。沖縄を見学したために両親のふるさとをもっと分かるようになりました。沖縄の自然・歴史・人々について簡単に勉強できました。

自然について、いろんなことを習いました。例えば、沖縄のやんばるだけに住んでいるヤンバルクイナとノグチゲラという動物がいます。そのためにやんばるはとても管理されているところです。そして沖縄の人は環境を破壊しないように生活ができるので、それはいいことだと思っています。沖縄の海も行きましたがとても美しかったです。世界で一番きれいな海があるので、みんな大切に守らないといけません。30メートルの比地大滝も訪ねて行きました。あの滝がどのように生まれるのかという話がとてもおもしろかったです。話によると、沖縄は沈んでまた浮かびました。この土地が侵食されるまでにこの過程は何回も繰り返されました。それで沖縄は階段の形をしています。

歴史については、首里城と今帰仁城を訪ねて行きました。戦争の時破壊されて、あとで復元されたのに、今でも琉球王国の力が見える感じがするので、すばらしい遺跡だと思っています。ベネズエラのお城に比べたらスタイルが違うのでおもしろいです。さらに沖縄の人は自分の歴史や文化をよく管理していますので、それは大切なことだと思っています。1945年に終わった沖縄戦のことについて死亡の数がこんなに多いと思いませんでした。平和の礎に書いてある戦争で亡くなった人の名前を読むととても深い印象が心に残りました。戦争のことを考えるようになりました。この過ちはもう二度と起こしてはなりません。沖縄の人はこれをよく考えていると思います。そのために山田という人は平和の塔で巨大な仏像を作りました。これは亡くなった人はずっと眠れるように、平和と平穏の望みが永遠に沖縄の人の心で守られるようになるという意味です。

沖縄の人々について、いろんなことが言えます。親切で明るい人だと思っています。沖縄に行った時どこでも厚いもてなしを受けました。そしてもっと友達ができ、みんなは仲良く打ち解けました。子供たちは多分みんなウチナンチュの血が入っているので、いつも友好と調和の気持ちがありました。

最後に沖縄県に呼んでくださり、本当にありがとうございました。今は両親のふるさとをもっと知るようになり、もっとウチナンチュになり、もっとしっかりした感じがします。将来ベネズエラと沖縄をもっと結ぶのに重要な人になりたいです。ツアーのために手紙やE-mailで世界の子供と連絡を取っています。今ただのやり取りですが将来私たちの国の間で親密な関係になると思います。その他にもジュニアスタディーツアーを頻繁に行うなら世界のウチナンチュの若者は自分のふるさとをもっと知ることができ、ウチナンチュの意味をもっと理解できるとと思っています。

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）



仲村 ヤスヒロ  
（メキシコ）

東京に着いてから空港や道路や建物や人の親切な心などに驚きました。

沖縄に着いてから祖父母のふるさとにいて、初めて親戚に会って、特別な気持ちになりました。空港で親戚だけではなくてイベントのスタッフの人たちが迎えに来てくれました。

初めて沖縄に来たので親戚と一緒にしばらく時間を過ごしました。二日間後、全部スタディーツアーの参加者が来ました。私たちは部屋を割り当てられました。私と沖縄の参加者は同じ部屋を共有しました。あの時もっと日本語を勉強しないとイケないということにと気が付きました。

次の日に見学するところのハンドブックをもらいました。さらに沖縄県知事に会って写真を取りました。それからバスに振り分けられて見学を始めました。

沖縄の面白いところを訪ね、例えば首里城・戦争犠牲者の名前を書いている平和の礎などです。そして平和記念資料館というところで戦争のビデオを見て寂しくなりました。戦争の悲惨をこれまで想像できなかった。

次の日に参加者はお互いに仲良くなるために時間をもらいました。あの時多くの友達ができメキシコに戻ってきたのに今まで連絡があります。

一番びっくりした活動は三線の演奏でした。私は音楽が好きですと前に三線を習ったからです。おじいさんは三線を弾いたから多分おじいさんがお父さんに、お父さんから私に三線のことを伝えたいと思っています。だから、沖縄とおじいさんの思い出にメキシコに三線を持ってきました。

さようならパーティーで沖縄県知事から直接に修了証書をもらいました。とても感動しました。

次に別れ時間になりました。みんな仲良くなりましたから寂しかったです。私は沖縄の友達にさようならしました。お互いに手紙を書く約束をして、もっと日本語の勉強をする約束もしました。

最後の日に午前8時にペルーとアルゼンチンの参加者が帰国しました。その後で私達でした。

空港で親戚と参加者の何人か見送りに来てくれました。長い間会えなくなると考えた寂しい気持ちになりました。また成田空港でカナダの参加者に会って一緒にバンクーバーに行きました。そこからメキシコに出発しました。

このようなことは忘れられない経験でした。家族のふるさと、親戚に初めて会ったこと、外国からできた多くの友達などがありました。今メキシコに戻ってから沖縄の文化・習慣などをもっと分かるようになりました。

最後に沖縄県・主催者のみなさんに感謝したいです。できればこのようなイベントは続けたらいいことだと思います。

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）



仲村 ミツオ  
(メキシコ)

沖縄に滞在することができてとても楽しかったです。沖縄に着いて私たちと親戚は心からお互いに会いたかったということがわかりました。また嬉しい気持ちと懐かしい気持ちも両方ありました。残念ながら私のおじいさんとおばあさんは自分のふるさとに帰ることができませんでしたが、かわりに僕たち孫が沖縄に行くことができました。

空港でジュニアスタディーツアーの主催者と親戚からあたたかい歓迎を受けました。沖縄の人の第一印象でした。それからホテルに行くまで沖縄のトロピカルな雰囲気を感じました。

親戚に会うだけではなくて世界から沖縄に来た子供たちにも会いました。みんなで一緒に話したり遊んだり楽しんだりしました。この時みんな同じ言葉（特に日本語）が分かるのが大切なことだと気がつきました。みんな同じ言葉が話せないのに親友ができました。あの時ペルー・ブラジル・アルゼンチン沖縄県人会はメキシコ県人会より大きいのだと初めて聞きました。

ツアーの間にいろいろなことを習いました。おきなわの習慣・歴史・文化などでした。

平和祈念公園で沖縄の戦前のフィルムを見ました。これは深く印象に残っています。なぜかという祖父の生活が分かったからです。それから戦争のフィルムを見ました。沖縄はアメリカに破壊されて苦しい状態でした。どうして小さな島が残酷に攻撃されたのか。またアメリカ人がこの戦争を正当化したかを聞くと私は怒っていました。みんなそうでした。

平和のシンボルという平和記念像を見に行きました。この像は平和の祈りを託して世界に広がるためです。像の下に平和のシンボルとして世界の石があります。沖縄に行く時平和のシンボルとして両親にメキシコの石を持って行かせたいです。

全人類の進歩のために平和はとても大切なことだとみんなよく分かるようになりました。その日に何人かの友達と平和について意見交換がありました。

北部地方にあるみどりの美しいやんばるにも行きました。比地大滝を訪ね、冒険をするみたいに滝に着いた時、何もかもわずにズボンを着たまま川を渡りました。みんな濡れてしまい、自然の一部を感じました。とても楽しかったです。

エイサー・空手・三線を教えるところにも行きました。クラスが終わってからエイサーの紹介がありました。エイサーを見ると自分のアイデンティティーの一部を感じました。メキシコに沖縄の子孫からなる太鼓グループがあります。

一つびっくりしたことは首里城でした。沖縄の戦争の時に破壊されて、1993年立て直しました。沖縄は強力な王国時代に首里城を建てました。あの時、沖縄はアジアの国々との間で貿易が強いと思いませんでした。三線も好きなものの一つでした。ですから考えないで一つ買ってメキシコに持ってきました。おじいちゃんと同じように三線を弾きたいです。先祖を敬うために沖縄の子孫は沖縄のことを何か習ったほうがいいと思います。

沖縄の人々や海を見てからずっと、また沖縄に帰りたい気持ちがあります。今また沖縄に行きたいという目的があります。

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）

第3回世界のウチナンチュ大会を行うところも訪ね、とてもきれいでした。そして泊まるホテルに戻って親戚の家に行きました。ずっと前から待っていたホームステイでした。

次の日にさよならパーティが行われました。最後の日なので一番寂しい時でした。食事の時何人かの人は食べていて、他の人は話をして、写真を取って、三線や踊りなどの演奏を見ました。

ジュニアスタディーツアーの参加者は修了証書と写真アルバムをもらいました。最後にペルー3人の方々と私はコンサートをしました。私はドラムを打って練習をしなかったのにあんまり間違えたりしませんでした。その後にラテンアメリカのみんなと一緒にステージに上がって「片手に三線」を歌いました。たくさんの方が泣いてしまいました。パーティーは終わりにになりました。あの晩はだれも眠れなかったです。次の日に多くの人が早く空港に出発しました。別れの日がやってきました。寂しい時になりました。特に親戚に別れた時。いつ会うかどうか分からないからです。

成田空港に着いてからカナダの人たちに会いました。バンクーバーまで同じ便で一緒に行きました。

このツアーはいつまでも心の中で大切にします。

思っていたより沖縄は美しいところです。小さな島なのに人・文化・自然がより大きいです。さらに歴史の中で世界にいろんなことを見せないといけません。

私の作った友達は永遠の友達です。沖縄もそうです。



### 生涯の体験

嶺 井 真 美  
(カナダ)

私は、幸運にもジュニアスタディーツアーの海外50人の参加者の一人に選ばれて、私たちの文化について学ぶため沖縄に行くことができました。故郷沖縄への理解が深まっただけではなく、私の一生の友だちができました。この旅行はずっと忘れることのできないものです。

7月24日、私たちは芸術的にとてもおもしろいつくりをしている首里城へいきました。とても大きな首里城を見学してまわるのはとても楽しく、そこには琉球の衣装を着た人たちがいて、また首里城の中を探検してまわることができました。首里城のあざやかな朱塗りの建築のなかで、その時代に自分があるとどんな感じなのかなと想像してみました。私が那覇市街全体を首里城の一番高いところから見渡したとき、その光景にびっくりしてしまいました。那覇の街はとても美しく、そして静かで、私は沖縄のそのほかの場所もこのように平和で穏やかなところなのだろうと思いました。

次の日は、私がいままで経験した中で一番気がめいってしまったんじゃないかという日だったのですが、このツアーの中で訪れた場所のなかでは一番だったと思います。私達は平和祈念公園に行き、そして第二次世界大戦のなかで沖縄がどのような立場を担っていたのかということ学びました。学校では、ドイツ、アメリカ、イギリス、日本そしてその他の国々の、第二次世界大戦中の立場がどうだったのかということについては勉強したことがありますが、私の先生は私の両親の故郷である沖縄については、説明をしてくれませんでした。沖縄が戦争に関与していたのにもかかわらず、です。講義を聞きながら、映像を見ました。そして戦時中の沖縄のようすを展示物や写真から見て、ものすごく悲しくなって泣いてしまいました。そしてそれと同時に、私の学校の先生に、私や私の学校の仲間に私の故郷が直面した恐ろしさについて教えてくれなかったことに対して腹が立ちました。ビデオや写真でたくさんの腐食している死体を見るのはとても耐えがたいことでした。写真の中には老若男女を問わずたくさんの人々が殺されていましたが、私が一番傷ついたのは、残忍なアメリカ人の手で小さな男の子が殺されている写真でした。破れた着物や、私が読んだたくさんの悲しい体験談、壕の中に隠れている家族のようすをしめした展示物、戦争で死んだ人々の名前が刻まれた石（トータル二十三万八千六百六十一人のうち十四万八千三百四十一人が沖縄の人々）とこれらのものが私に与えた衝撃はこれまでの私の人生のなかで予想もつかないほどのものでした。そこへ行くまで私の祖父母やその父や母がこのような恐ろしい時代を生き抜いてきたということを知らなかったけど、今は祖父母たちが直面した苦難をもっと深く理解できたということやまた私の祖父母たちの知恵や賢明さのすばらしさを理解しました。なぜならこのツアーのこの日、平和ということがどんなに大切であるかということを知ったからです。私は決してこのようなことが現実として起こらないように、私のまわりでも平和を保つためにどんなことでもしていこうと誓いました。

山田真山氏という芸術家によってつくられた平和記念像は、私を圧倒するような、平和で穏やかな気持ちと感銘を与えてくれました。その像の周りを囲んでいる折り鶴は沖縄の人がどんなに心がやさしく、寛大な人たちであるかということを示していました。世界中のたくさんの人々は、今でも昔のことや戦争時代の敵国の人々に対して敵意を抱いていたり辛辣だったりしています。しかし沖縄の人々は過去におきたこととは関係なく世界の人々の平和のために祈ります。平和をつくっていくために世界中から集められた石を展示し



## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）

ているという壺石室はとてもおもしろいところでした。しかし、カナダから来た石を見たときはショックでそしてとてもがっかりしてしまいました。なぜなら私の生まれた国から来たその石は他のどこの国のものとも比べ物にならないようなものだったからです。ユースホステルに戻ってから、私達はグループになって私達が平和ということはどう学んだかということをお話しました。参加者が話し合うのを聞くのはとてもおもしろかったです。それは私を偏見のない人間になるように変えてくれたと思います。

最終日、7月29日の日曜日には私達みんなにとってなんて悲しい日だったのでしょうか。4時に私はおじとおばと一緒にさよならパーティーに参加するためパシフィックホテルに着きました。パーティーが終わりに近づくと、友達と別れてうちへかえるという悲しみに耐えることができなくなっていました。沖縄に来てこのツアーの間にたくさんのすてきな友達ができただけでもっと仲良くなるために沖縄に滞在することができたらと思いました。私がここで得た沖縄の友達は、沖縄のことやみんなのことだけでなく、人が本当はどうあるべきかということも含めてたくさんのことを私に教えてくれました。私がわかったことは、私がかたえ日本語をあまり知らなかったりうまく意思をつたえることができなかつたりしても一年間いてカナダでできるよりもっと沖縄にいる一週間でたくさん友達をつくることができるということです。私が思うのは、沖縄の子供達は見た目やどんな友達と一緒にいるかということで私のことを判断したりしないからです。そして、それどころか笑顔と思いやりで私を迎えてくれたのです。

家に帰る日がついにやってきました。空港では私の沖縄の友達が見送りにきてくれたのを見てびっくりしました。私のおじさんとおばさんもそこにいました。出発のとき、みんなを抱きしめてサヨナラをしました。私がいままで経験した中でもとてもつらいときでした。

かえってきてから一週間がたつというのにまだみんなのことを思うととてもさみしくて早く沖縄にかえるのが待ち遠しく思います。私の家族と友達に私が沖縄で経験して学んだことを話してあげました。そして特にすてきな友達のことを話してあげました。私はこのツアーでできた友達とこれからもずっと友達であるために今度沖縄へきたときはこの大好きな友達を訪ねてみようと思っています！

私はこのツアーを考えてくれたみなさまに感謝したいと思います。それから私に沖縄がどんなに独特の文化をもっているかということを知るのを助けてくれた方たちや、世界中からの友達という贈り物をくださった人たちへ、本当にありがとうございます。ジュニアスタディーツアーのおかげで私の両親や先祖の故郷についてもっと知ることができたことに感謝しています。そしてウチナンチュであることに誇りを感じます。このツアーは私の人生に大きな影響をあたえ、そしてもっといいものに変えてくれました。私はずっとこのツアーのこと、その思い出をわすれないでいようと思います。そしてここでできた友達は私のこころのそばにいつまでもいるでしょう！私は本当にこのツアーを他の子供達のためにも将来ずっと続けていってほしいと思います。



宜保 亜由美 カレン  
(カナダ)

第三回世界のウチナンチュ大会ジュニアスタディーツアーでは本当に素晴らしい経験ができました。ツアーの一日一日が非常に楽しかったです。一番思い出に残っているのは平和祈念堂に行った時のことです。学校で平和の大切さについて学ぶ機会は多くありましたが、平和祈念堂に行くまで平和や戦争についてこれほど深く理解できたことはありませんでした。戦争のビデオを観て、亡くなった人の名前を見て気がついたことは、たとえホームレスや飢餓に苦しんでいる人たちでも（生きていうことは）恵まれているのだと感じました。この映画はいくらか心に痛いものでしたが、人々の築いてきたものを全て破壊し、同時に何千人もの人を殺害し傷つけてしまうような戦争を二度と起こしてはいけないということを、若い世代に理解させるために必要だと思います。映像の中に非常に貧しい沖縄の人々が写し出されている事実によって、戦争の醜さや破壊力を実感させられました。しかし、沖縄の人々や日本が努力と決心で、世界の中でも高い敬意を払われている国の一つにまで再建されたことは誇りに思えます。私は日本人のねばり強さを心から尊敬しています。

また、沖縄の人たちのようにエイサーを踊れるように鑑賞したり、習ったりするのはとても楽しいことでした！エイサーを踊っている人や太鼓をたたいている人はとても力強くて素晴らしかったです。まるでずっとエイサーが続いていくかのようにさえ感じられました。

ジュニアスタディーツアーを計画してくれた皆様が、友情や知識に基づいて差別をなくし、世界の国々を一致させるのに大きな一歩を踏み出したと思います。世界中の若者が一堂に集まることで、非常に大勢の国から来た仲間と友情を育む機会となりました。そのため、このツアーは私にとって人生の中で特別なものとなりました。大勢の新しい友人ができると共に、沖縄の文化、歴史、芸術、自然についても学ぶことができました。また自分の受け継いでいることへの感謝や理解が深まりました。そして、私の子どもが生まれたときには、彼らにもまた受け継いでいる沖縄の大切さについて教えたいと思います。

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）



金城 茜

（カナダ）

7月21日から30日にかけて本当に素晴らしい体験ができました。沖縄にはこれまでも行ったことがありましたが、今回は文化、歴史、また地元の人たちのことを知るよい機会でした。気温の暑さやストレス、スケジュールだったので、みんなぶつぶつ文句を言いがちだったと思うかもしれませんが、そんな人は一人もいませんでした。みんないつも笑顔を浮かべていて、友好的であたたかく人をむかえいれる、そういうウチナーンチュの心をもっていました。

ツアーは23日のオリエンテーションからで始まりました。一緒にツアーをするためにグループに分かれました。カナダ人が一人もいなかったのが心配でしたが、みんな親切であったという間に友達になりました。一番思い出に残っているのは首里城、平和の礎、国際通り、玉泉洞王国村、ヤンバル、そしてもちろん海です。とくに玉泉洞王国村で見たエイサーが楽しかったです。

ツアーではたくさんの面白い人たちに出会って、とてもいい友達になりました。お互いによく知らない同士でしたが、私達には共通する点がありました。それは、ウチナーンチュだということです。一週間の間、みんなは私にとってまるで家族のような特別な存在でした。長いバスでの移動は退屈どころか歌を歌ったり、ゲームをしたりして過ごしました。ツアーの間でもし誰かが何か分からないことがあった時には、私達みんな同じ言葉を話さないもの同士ですが、みんなで訳そうと一生懸命努力しました。昼間の外での長く暑い時間にはうちわを一緒に使って、お互いに涼しくしたりしました。一緒に笑ったり冗談を言ったりして、また同じ時にお互いの文化を学びました。私がみんなと過ごしたのは短い期間でしたが、みんなと一緒に過ごした楽しい時を忘れてはしません。

私は、私の家族が沖縄県人会のメンバーであること、そしてウチナーンチュであることにとても感謝しています。このツアーを組織した沖縄県、今年の夏すばらしい思い出をつくることを可能にして下さった沖縄県民の皆さんに感謝しています。私が、こんなすばらしい文化をもっているウチナーンチュであるということをとてもうれしいことだと思います。私は私と同じような沖縄の血を受け継ぐ、そのことをとても誇りに思っている沖縄の子に出会えたので、とても幸運だったと思います。ジュニアスタディーツアーに参加できたことが本当にとてもうれしいです。どうもありがとうございました。

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）



目取真 ジャネル ミホコ  
(カナダ)

こんにちは！私はジャネル メドルマです。ジュニアスタディーツアーで沖縄に旅するという本当に素晴らしい機会を得ることができました。沖縄に行くのは初めてだったので、ツアーに行くことをとても楽しみにしていました。どんなことが起こるのか全く分からなかったのが少し心配でしたが、沖縄は本当に良いところで、みんな親切でした。

このツアーで一番大切だったと思うのは、他の国の人達と一緒に過ごしたことです。このような機会はめったにありません。

ツアー中首里城や平和祈念公園に行ったのはとても楽しかったです。平和祈念資料館ではビデオ鑑賞したので、沖縄戦で何が起こったのかを知ることができました。戦時中、人々がどれだけ苦しんだのかについて考えさせられる体験でした。これだけの大量の人、特に民間人がどれだけ亡くなったのかを知って信じることはできませんでした。想像もつかない程の絶望的な状況の中で、沖縄県民は戦争の愚かさを体験しました。

私はハイキングがとても好きなので、ヤンバルのエコロジーツアーがとても楽しかったです。そこでは、どのような野生動物が沖縄で生息しているかについてのビデオを見ました。それから比地大滝へむけてハイキングへ出発しました。これまで海には一度も行ったことがなかったので、ビーチに行くのはとても楽しかったです。海ではあまり時間がありませんでしたが、とっても楽しみました。

このツアーに参加することができて本当に恵まれていたと思います。人生で一度限りの経験ができました。自分の文化について学んだだけでなく、他の国からやってきた新しい友達を作ることができました。ツアーは非常に素晴らしく、参加できたことを沖縄県やジュニアスタディーツアー関係者の皆さんに心から感謝しています。

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）



玉榮 チャールズ  
(アメリカ)

沖縄に向かった日、僕はこれからどんなことがあるのかなあと考えていました。飛行機の旅は長くてあんまり居心地がよくなかったのですが、快適でした。空港に到着するとたくさんのカメラとサインを掲げた人たちが待っていて、まるで私が有名人になったかのような気がしました。5分程写真撮影した後、沖縄県人会スタッフが私とカリフォルニアからの参加者二人を滞在ホテルに連れていきました。

次の日、7:30頃に目を覚まして、朝食に行きました。朝食にはハムエッグとフレンチフライ、ごはんのみそしるを食べました。朝食の後、武道館へ行ってグループに分かれてから那覇ツアーに行きました。

次の日には、沖縄の過去の文化について学習するために首里城ツアーに行くことになっていたので早起きました。その晩、再び集合して何を学ぶためにここに集ったかという事についてディスカッションしました。

最後の日には、水や岩、泥水の中を歩いてハイキングに行きました。そこにはいろんな動物がいました。その晩、私達はみんなでさよならパーティーに集いました。そして、もう一生会えないかもしれないこの新しい友人達へさよならを言いました。



デイビッド レイモンド  
(アメリカ)

沖縄はとても美しいところで、沖縄にいるあいだは沖縄の文化についてたくさん学びました。お城についても知ることができましたが、首里城が一番素晴らしいと思いました。首里城にある王のイスの両側には竜が並べられていて、デザインがとても気に入りました。空手も習うことができ、とても楽しかったです。太鼓の打ち方も教わり、祖父に太鼓を作ってもらおうのが待ちどおしいです。森に行った時には大きな滝を見てとてもびっくりしました。沖縄で一番素晴らしかったのは、おばあちゃんの方の親せきや世界中からやってきた友だちに出会ったことです。またいつか家族と一緒に沖縄に行きたいです。このツアーはこれまでの中で最高の経験でした。ぜったいに忘れません。自分の文化を知り、親せきや友だちに出会えたことに感謝をしています。



ジョセフ ジョーンズ  
(アメリカ)

2001年沖縄でのジュニアスタディーツアーは決して忘れられないイベントでした。この人生に一度の機会に、沖縄や親族とのつながりが強まったと感じています。このイベントが特別だったのはその活動内容だけではありません。その場の雰囲気全体が特別でした。ジュニアスタディーツアーのスタッフの皆さんは、沖縄が守ってきた豊かな文化を子どもたちに紹介することに加え、それを楽しい機会にすることが大切だということをも十分理解して下さっていました。

沖縄滞在中にはこれまで雑誌でしか見たことのなかった場所や建物をみることができました。また新たな生涯の友を得ることができましたし、自らのルーツを探る経験を共有できました。ツアーが始まったとき、言葉や習慣、外見等の様々な理由で他の参加者とコミュニケーションを図るのは難しく思えました。しかし、ツアーが進んで行くにつれ、不可能と思えるような状況でも、友情が育まれていくのがはっきりと分かりました。外見や言葉が違って、異なる文化のもとにあろうとも、一つの島沖縄によって私達がつながっているということを感じて理解するようになったからだと思います。

もしこのイベントがもう一度計画されるようなことがあれば、皆さんに参加するようすすめたいと思います。私にとってこれは単なる学習の機会ではなく、生涯忘れられない思い出になる体験でした。



ブライアン デイビス  
(アメリカ)

夏が始まる頃、私は学校が修了したのでリラックスして楽しんでいました。ジュニアスタディーツアーに参加するために一週間沖縄に行くことになるかと母が話したのはその時でした。最初、ユタにいる自分の友達と一緒に過ごせなくなることを寂しく思いましたし、一緒に楽しいことができなくなってしまうので残念に思いました。しかも、親族とほんの二日間しか過ごせないことにもがっかりしました。でも母が、世界中から選ばれた五十人の内の一人だと話してくれたので、特別に選ばれたことを嬉しく思いました。

沖縄に到着したときはまるで映画俳優のように歓迎されたのでわくわくと同時に驚きました。挨拶したり、歓迎するためにみんなが来てくれていました。そこにはあたたかく素晴らしい雰囲気がありました。世界中からやってくる人たちに会って、沖縄について学ぶのが待ち遠しくなりました。訪れたところはどこでも沖縄の歴史について知ることができました。やんばるのビーチに行ったことは非常に楽しく、決してその時のことを忘れません。とても美しかったので、海をきれいにするためにビーチに落ちているゴミは何でも喜んで拾いました。もっときれいにしたいです。

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）

ツアーの最後になる頃、人生のなかでも最高の時を過ごしていました。みんなと仲良くなって、とても楽しい時を過ごしていました。決して忘れることのできないような思い出がたくさんあります。たくさんの友達ができ、今でも連絡をとりあっています。ツアーが終了し、みんな帰ることになりました。さよならの後にはもう会えなくなると思うととても悲しかったです。ツアーの経験はこれまでで最高のものでした。決して忘れません。このジュニアスタディーツアーを可能にくださったすべての皆さんに心から感謝しています。



ティファニー フィドラー  
（アメリカ）

ジュニアスタディーツアーの行われた一週間、沖縄についてたくさん学ぶことができました。歴史や文化、人々について学んだだけではなく、私の民族性についても知る機会にもなりました。

ツアーに到着したときは、言葉の通じない人たちとただバスに乗って観光するだけと思っていたので、少しつまらないような気がしました。でも一日が過ぎて、私が間違っていたことに気づきました。ほとんどの参加者は同じ言葉話していませんでしたが、それでもコミュニケーションをする方法を見つけられました。会ったばかりの人たちと一緒にツアーをし、いろいろなアトラクションの写真を撮ったりすることは想像していた以上に楽しかったです。このツアーは、ちがう国からやってきたただけの子どもたちの集団というだけではありませんでした。私達全てには一つの共通するものがありました。それは“沖縄”です。

ホームステイの体験は決して忘れることができないものでした。日本の習慣はアメリカのものとはかなり異なっています。その様々な点をツアー中のホームステイの中で気づかされたり、教えられたりしました。明日沖縄に戻れば、道が結構分かると思います。このツアーのおかげで那覇とヤンバルについてはよく知っています。

世界中からの参加者と友達になることができました。そしてうれしいことは、大勢の友人と今でも連絡をとりあっていることです。親族や友人と共に体験したツアーの素晴らしい思い出でいっぱいです。今度沖縄に行くときには親族に加え、大勢の友人達に会えるということはいずれうれしいことです。いつのかジュニアスタディーツアーのメンバー全員に会えることを楽しみにしています。参加者全員が私と同様にツアーを楽しみ、沖縄についてたくさんで学んで帰国したことを願っています。



比 嘉 龍 児  
(アメリカ)

沖縄に来るのは三度目でしたが、今回が一番最高でした。日本語を結構話すことができるので、ツアーは充実したものになりました。首里城や滝登りなどすばらしい観光地に行くのは楽しかったです。平和祈念公園ではアメリカ人として成長してきた私の知らなかった隠された真実を知ることができました。これまで常にアメリカ人としての観点から戦争を見てきたため、沖縄の観点からは見たことはありませんでした。第二次大戦中の沖縄の様子をビデオで鑑賞して、アメリカ人がどんなにひどく私達を扱ったかを知ると涙がでてきました。これはツアー中でもっとも悲しかったことです。

ツアーの中でもハイライトとなったのはエイサーと三味線を習ったことです。これは単に学ぶだけでなく、自分の文化を体験する機会になりました。まだアメリカに帰ってからほんの一週間ですが、もう沖縄が恋しくなっています。また沖縄に行くのが楽しみです。新しい仲間に出会うのはツアーで最高のことでした。みんなとてもおもしろかったです。パーティーやダンスを通して友情は深まり、ますます強くなりました。新しい友達ができるのはとても嬉しいことでしたが、それには暗い部分もありました。沖縄で出会った殆どの友人とはもう会うことがないかもしれません。帰国するための飛行機に乗って出発するのは心の痛むことでした。連絡先を教えてもらったので、沖縄に戻るときはぜひ再会したいと思います。

ツアーの別のハイライトはホームステイでした。私は名護と那覇にいる親族とステイしました。名護では叔父と叔母がオリオンビールパレードを見に連れていってくれました。とても楽しくて花火がきれいでした。アメリカでも一年に何度も花火を見る機会がありますが、あんなに近くで見たことはありません。その後はカラオケバーにいて、酔っぱらった叔父が私に沖縄の踊りを教えようとしてきました。叔父に会うことで本当によかったです。そして知念村にある大叔父の空手道場に行きました。大叔父の空手の趣味が私の中にも受け継がれています。私は沖縄拳法空手を10年父に習っています。

太田守胤さんが私の名字に聞き覚えがあり、私の所にいらしたときには驚きました。太田さんは私の父と琉球大学に通いました。もう何年もたった後に友人同志が互いに覚えているというのは嬉しいことでした。このツアーで出会った新しい人たちともそのようになることを願っています。

私は結構日本語が話せますが、もっと勉強して沖縄の大学で一年勉強したいと思います。そして住んでみたいと思います。まだ会ったこともない親族とも会ってみたいです。親族の特性が私の中に受け継がれていることを知りたいと思います。この日本での経験を通して、沖縄人であることに誇りを持てるようになりました。親切でおもしろい人たちに会ったり、沖縄の歴史や文化をもっと学びたいです。沖縄にぜひ住んでみたいです！





落 合 北 斗  
(アメリカ)

沖縄。美しい熱帯の海、見渡す限りの自然、まばゆいばかりに輝く太陽。これは、誇りに思い受け継ぐ理由のほんのいくつかに過ぎません。この島々自分のルーツがあります。

ジュニアスタディーツアーは今年が初めて計画されたので、上手く組織されていない部分があったものの、計画されていたことの殆どがスムーズに進みました。素晴らしいリーダーとボランティア達が案内をし、いつも助けて下さいました。

首里城は、同じ様な門ばかりでしたが、一番印象深かったのはお墓で、特に亀甲墓が印象強かったです。平和については、アメリカで生まれ成長してきたため、戦争をアメリカの側からしか見ていませんでした。たいてい、日本人は全て悪者で凶悪なものとして描かれていました。誰が多く苦しんだか、どっちがあれをやった、これをやったと責めるよりも、両者が戦争に参加したことを嘆いて後悔するべきだとみんなと話し合いました。

玉泉洞王国村では、琉舞とエイサーを体験しました。琉舞は信じられないほど難しく感じましたが、考えていたほど悪くありませんでした。エイサーはとても好きで、ニューヨークで毎週レッスンを受けています。ツアーの中で一番最高の日だったのは、ヤンバルのエコツアーです。動物や植物を見ながら川をのぼりました。川の上流には大きな滝と湖がありました。女の子達を説得して一緒に水に飛び込み、泳ぎ回ったりしました。短い時間でしたが、とても楽しかったです。

最後の夜は、殆どのメンバーが一晩中起きて最後の時間を共に過ごしました。最後に、ツアーにまた参加したいかと尋ねられたら、少しも迷うことなく「もちろん!」と応えます。沖縄での一週間は人生の中でも最高の一週間でした。

「未来—ちゅら夢心にのせて」

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）



ケイラ ケンプ  
（アメリカ）

まず始めに、日本そして沖縄への旅を楽しんだことをお伝えしたいと思います。今回の滞在を受け入れて下さって有り難うございました。オリエンテーションの際には、皆さんの前で知事と握手できたことを非常に光栄に思っております。

ツアーで一番よかったことは親族と過ごせたことです。叔父には一度も会ったことがなかったので、初めて会うことができるとても楽しかったです。またメンバーとは一緒に楽しく過ごせました。とくに滝沢登りが楽しかったです。私達は岩から飛び降りて泳いでいたので、みんなに無鉄砲だと思われたようです。

始め日本に到着した時は、すっかり家に帰りたくなくなってしまい泣いてばかりでした。毎晩父親に電話をしてもう帰りたいと話していました。父は泣かないように、そして電話をかけるとますます辛くなるからできるだけかけないようにと言いました。私は木曜日までには泣きやみ、父親に電話をかけなくなりました。元気になったのです。帰るときになると、新しく出会ったばかりの友人と別れたくありませんでした。もし今誰かが日本に戻りたいかどうか私に尋ねたなら、すぐに「はい」と応えます。

このツアーであまり気に入らなかったのは、行きと帰りの飛行機だけでした。それ以外は本当に楽しかったです。みんなでキャンプファイヤーを囲んでダンスしたときは特にそうでした。

新しい文化について学ぶことは楽しく興味深いことでした。祈念公園や博物館を訪ねたり、文化的な催しに参加することからたくさん学びました。

沖縄での滞在は本当に楽しく、また沖縄に戻ってくる日を心待ちにしています。



ロバート ファンチェス  
（アメリカ）

ジュニアスタディーツアーでは沖縄の歴史や文化を学ぶことができ、とても楽しい経験となりました。ツアー中には平和祈念公園や首里城など県内の様々な場所を訪れることができました。那覇市内にある首里城では、日本に占領される前の（琉球列島として知られていた）沖縄の初期の歴史について知ることができました。再建された建物の中には沖縄の昔の国王を描いた様々な古い絵や飾りものがありました。

また南部にある平和祈念公園にもいくことができましたが、そこには第二次世界大戦中に沖縄でおこった悲惨な出来事についての展示がたくさんありました。彫刻された仏像、資料館や海沿の水の流れ、戦争中に亡くなった人たちの名前が刻印された礎など興味を引かれるものがたくさんありました。この平和祈念公園を特に際立たせているのは、一般にあまり知られていない第二次大戦の側面を広く紹介していること、そし

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）

て沖縄で戦時中また戦後に実際に何が起きたのかを示していることです。

ツアー中にはマングローブ林や森にも行くことができました。たくさんの野生動物がマングローブ林にいましたが、最近マングースが急激に増えていて、それがハブやマングローブに生息している生き物を脅かしていることを知りました。（あまりにもたくさんマングースがいたので、一匹一緒に連れて帰りたくなりました！）沖縄のマングローブは私がフロリダ州のキーラーゴで目にしたものとはかなり違っていました。また、森では、滝や見慣れない木を見ることができ楽しかったです。木の根っこが地面からリボンのように飛び出ているかのように見えました。

また沖縄のビーチに行くこともできました。沖縄のビーチは（キーウェストやキーラーゴといった例外を除いては）アメリカにある普通のビーチとはかなり違っています。海も砂もとてもきれいで、私が泳ぎたい場所といえば唯一沖縄の海だけです。沖縄の海岸には美しい形をした珍しい貝殻があり、時々砂の中にはウミガメのような海洋生物の骨が埋まっています。

独特の文化や野生動物、歴史を誇る沖縄に行くのはとても楽しいことでした。沖縄には見るものがたくさんあるので、とても一週間で全部まわることはできません。今回で沖縄に来るのが三度目になりますが、私が行ってみたい場所全部にはまだには行っていません。また将来沖縄に戻って、沖縄の記録ビデオを是非作成したいと思っています。



アンディー ライダー  
（アメリカ）

日本ではたくさんの新しい友達を作ることがと、自分で期待していた以上に多くのことを経験することができました。この旅はジョージア州で始まりました。そこで、まず旅の最初の友達やかよこさんという素敵な方に出会いました。かよこさんは、私たちがまるで本当の子供であるかのようによく面倒を見てくれました。沖縄のユースホステルに到着したときは、大勢の人たちが喜んで私たちを迎えてくれました。沖縄での滞在期間中にはいろんな所に行きました。いくつか名前をあげると、首里城、那覇市内の公設市場、今帰仁城などです。また、ひいおばあさんのところで一泊する機会もありました。もっと沖縄に長く滞在したかったです。ジュニアスタディーツアーは出身地の異なる子供たちが自分たちの受け継いでいるものについて知る素晴らしい機会だと思います。沖縄で私たちを助けてくださった皆さん、また沖縄県人会の支援に心から感謝しています。



### ジュニアスタディーツアーレポート

キム ビセット  
(アメリカ)

沖縄には私が7歳になるまで住んでいましたが、沖縄の文化について学ぶことは全くありませんでした。しかし、ジュニアスタディーツアーは私にその機会を与え、沖縄の文化の一端を担うことがどれだけ大切であるか、また世界平和が最優先事項とされるべきであるということを実感できるよう促しました。この小さな島に非常にたくさんものがあることに驚きました。

沖縄の歴史は興味深く、ツアーでは分かりやすく楽しく学びました。くばがさやあんでいら（あんつく）といった初期の衣服からは、沖縄が中国の影響をどのように受けていたかを知りました。また首里城等の施設に行くことで、数世紀前に、琉球王国が重要であった理由について実感することができました。玉泉洞での空手やエイサーの文化クラスも楽しかったです。それらから、人々の生活がどのようなものであったのか実際に学ぶことができました。これまでも様々な歴史的な場所へ行ったことがありましたが、故郷について知らないことも多くあり、今では自分自身のルーツについて更に知ることができたので嬉しく思います。

豊かで大切に守られている歴史に加え、沖縄の自然はとても魅力的です。異国情緒溢れる植物や動物、また澄みきった水全てがそうです。実際、このすばらしい美しさは私がアメリカで見てきたのものとは異なっています。ヤンバルでのトレッキングでは、実際湖の中を歩きました。生い茂る木や沢山のおもしろい生き物を本やテレビを通してではなく、生で体験することができて特に満足しました。それは息をのむような冒険でした。しかし、このツアーの最大の目的は世界平和でした。プレイベントに出席して、第二次世界大戦という最も痛ましい出来事の一つについて学ぶことができてよかったです。平和祈念公園では戦争映画をみました。その映画では死体を目にし、恐ろしい体験をくぐり抜けた県民の証言を直接聞いて衝撃を受けました。また、亡くなった兵士や民間人、子どもたちの名前が記されている礎を見たときには衝撃がさらに強いものになりました。戦争について学ぶのは非常に繊細なことです。将来二度と戦争が起こらないようにするためにもよくそれを真剣に受け止めなければなりません。物事を明るく考えると、世界平和を重要なゴールとして位置づけることは世界中に友人を作ることになります。チリやフィリピン、カナダ、ボリビア、イングランド、アメリカ、そして沖縄出身の友人ができました。私をととても温かく迎えてくれたので、また故郷に帰ってきたという気持ちになりました。未来に向けて私達全てが力を合わせて変化をもたらしていかなければなりません。

このツアーはとても楽しく教育的でしたが、もっと期間が長ければよいと思います。そうすれば、もう少しゆっくり学ぶことができましたし、沖縄の暑い気候でもみんなもっと快適だったでしょう。また、もっと友人を作りたいかったです。そのためには、みんなの顔写真や住所、趣味などが記されたアルバムがあるとよいと思います。そうすれば帰国してからも連絡を取り合うのがたやすくなります。そして、ウチナーンチュのジュニアスタディーツアーは毎年開催されたほうがよいと思います。全体的に見て、このツアーは豊富な経験を積む機会となりました。

沖縄の歴史、文化、美しい自然について学ぶ機会を与えて下さったウチナーンチュ大会ジュニアスタディーツアー関係者、そして沖縄県知事稲嶺氏に感謝申し上げます。ウチナーンチュの一部であるために何が求められているのか学んだことは自信につながりました。

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）



クリスタル スワンソン  
(アメリカ)

最初、日本の沖縄に行けるかもしれないと聞いたときはわくわくしました。でも本当に私が行くことができると分かったときはもっとうれしかったです。

まず、パスポートを作るために母と一緒に写真を撮りに行きました。パスポートができあがるまでに約3週間かかりました。

次に、健康診断の予約をして診断を行いました。その後には血液検査がありました。

そして、全部の書類（情報）を沖縄にファックスしました。それからツアーに向けて荷造りを始めたのです。ついに出発の日がやってきました。私は母と一緒に7月19日に出発しました。

ツアーが始まった最初の日はだれも知らなかったのが、何となく心配でした。ツアーが始まると、チャップミカのような友達に出会いました。

水曜日には平和祈念公園やついきん（平和祈念像）を見に行くことができたので楽しかったです。四日目は私の誕生日でした。太鼓や獅子舞を見ることができたのでうれしかったです。

その夜、キャロライナペンションというホテルに行きました。みんながシャワーをすませたあと、バーベキューをしてキャンプファイヤーをしました。ルカと私の誕生日もしました。みんなで手に持って花火をしました。日本語の歌を歌っていた人が私たちをインタビューしました。

さよならパーティーも楽しかったです。母とおばのけいこが私をそこに連れていきました。さよならパーティーの最後はみんな泣いていました。

一番覚えているのが4日目で、太鼓と大きな獅子舞を見に行ったときです。とっても楽しかったです。ついきん（平和祈念像）を見たのも楽しかったです。

ツアーが終わってから、親戚にみんなにツアーのことを話しました。私の話したいことが分かってもらえないときには、母が私のかわりに説明もしてくれました。

私が受けついでいる文化的なものについて、ほかの子どもたちと一緒に学ぶ機会を与えられたことに心から感謝しています。

私はウチナーンチュです！



### ジュニアスタディーツアー2001 忘れられない経験

テレサ マリコ モートン  
(アメリカ)

沖縄で開催される世界のウチナーンチュ大会に参加する機会を得て、本当に感謝しています。この素晴らしい経験を私は決して忘れないでしょう。沖縄でのこのわずかな一週間はたくさんの感情が入り交じったものとなりました。素晴らしい仲間に出会えてとても嬉しかったです。また、沖縄を取り囲む自然の美しさに感嘆しました。そして、第二次世界大戦中に沖縄の人々が堪え忍んだ様子を知るといたたまれない気持ちになりました。このように、自らの文化を学び理解するというのは本当に忘れられない経験でした。

これまで世界の色々なところを訪れましたが、沖縄社会ほど思いやりや、気遣いに溢れた人たちが住んでいるところはありません。沖縄で出会う全ての人々が親切で友好的でした。国籍や文化で判断されたりはしません。これまでずっと沖縄の人がなぜこんなに温かい心を持ち、同情心に富んでいるのか考えていました。今回それが、沖縄が貿易を基盤としているからだとなりました。沖縄は東南アジアの国々と貿易し、貿易の中心地となりました。そして、どのような人であっても全ての人を歓迎し、友達になったのです。現在まで、この小さな島沖縄に友情は息づいています。「いちやりばちよーでー」の意味をその通り経験できました。

沖縄は完璧なパラダイスです。「太平洋の宝石。」人は沖縄をこう呼ぶでしょう。大きな町もありますが、そこも美しい亜熱帯の雰囲気を感じさせます。沖縄にはなにかしら特別な輝きがあります。外を歩くとまはゆい光で目がくらみます。私は、「太陽の輝く州」と呼ばれるフロリダ出身ですが、それでも、沖縄ほど太陽は明るくはありません。7月の天気はとても暑く湿度が高いので、海からの風に体を冷やしてもらいました。エアコンが当たり前のものだとはいえ思ったりはしません。沖縄に自然の川やせせらぎがあるとは全く知りませんでした。やんばるの自然歩道を通して、一生懸命山登りしました。とっても楽しかったです。今となっても、あの息をのむような比地大滝にジャンプして飛び込んだことが信じられません。

第二次世界大戦の側面について学べたことを心から沖縄県に感謝しております。これまでずっとアメリカで生活し、アメリカの観点から戦争を見てきました。短い映画を鑑賞することで、言葉は理解できなかったのですが、人々の表情からどれだけ苦しんでいたのかを知ることができました。彼らは殺害され、自決を強いられ、死に至るまで飢えていたのです。日本兵、米兵をの犠牲者を合計したよりも大勢の民間人が亡くなりました。案内の人が自らの戦争体験について語ってくれました。彼女は父親のことを知らないそうです。生まれて一ヶ月の時に第二次大戦で父親を亡くしたことを、家族でガマに隠れていた時のことを話してくれました。この話を聞いてとても悲しくなりました。人々が互いをこんなにも残忍に扱うことができるかと思うと残念です。

私にとって、平和とは、世界中が一致と調和の下に生活することです。なぜ沖縄にとって平和がこれほど重要なテーマになっているか理解しています。沖縄県民は平和のない時代を生き抜き、それが美しい地を蝕むのを目撃しました。それだからこそ、今、世界中に平和への願いを伝えたいのです。

「戦争の惨事にも関わらず、沖縄の人々は廃墟から勇気を持って立ち上がり、悲しみに飲み込まれたりしないことを証明した。」(沖縄県史1、つし、「沖縄県歴史概要」) この引用は「沖縄のこころ」の意味を真に表現するものです。戦争の体験は県民を内側からも外側からも強くしました。県民は生きていることへの深い感謝を抱き、自らの文化を大切にしています。また沖縄の長命は世界中で知られています。美しい伝統的

な舞踊、音楽、空手は何世紀も世代から世代へ引き継がれてきました。

力強い文化の一部であることを知るなら、自らを尊ぶ気持ちが出てくるものです。後の世代へ、文化を伝えていく責任の重要性を実感しています。私はウチナーンチュなのです。



### ジュニアスタディーツアー2001 沖縄への旅

クリストファー ポーティン  
(アメリカ)

今年の夏にグアムを離れて旅行に行けるとは思ってもみませんでした。しかも沖縄県へのツアーに。米国領のグアム島からは私を含めて7人がツアーに申し込みました。これは私のような学生が沖縄に一週間招待されるというプログラムです。夏の半ばには、グアムからこのツアーに参加できるたった一人の学生であると知らされました。今回の旅は島を離れて一人で行く初めての旅行だったので、興奮と不安が入り交じっていました。このツアーの目的は文化や言葉、両親の出身地について学ぶことであるとのことでした。私自身はこのツアーを通して、親元を離れて経験をつみ、責任感を身につけ、ウチナーンチュの血を半分引いているというアイデンティティーに新たな視野を加える機会としたいと考えていました。

このツアーを単に沖縄について学ぶだけの機会とは見なしませんでした。むしろ、親族と更に親しくなると、自分自身や出身地についての理解を深めたいと思っていました。来年私は18才になるので、このツアーへの参加資格がなくなります。将来も参加者がこのツアーを楽しんで、経験や知識を他の人たちに分け与えて欲しいと思います。参加者全ては、その出身地と同様それぞれが異なっていました。未来の「ジュニアスタディーツアー」参加者が世界中に平和や一致をもたらすことを希望しています。

このジュニアスタディーツアーを実現して下さった皆さんに心から感謝しています。まず初めに、このツアーを組織する上で多大な努力を払って下さったスタッフ、責任者の皆さんにお礼申し上げます。スタッフや責任者の皆さんの尽力や決意なしではこのツアーは今回のようにスムーズかつ効果的には進まなかったでしょう。またグアム沖縄県人会がこのプログラムに私を推薦して下さいましたこと、そしてこのツアーに参加する機会を与えて下さった事へも感謝しています。最後になりますが、沖縄県がこのツアーを支援して下さいました事へも感謝申し上げます。今後もジュニアスタディーツアーが沖縄県によって支援されることで、沖縄の文化が世界中に広がることを願っています。

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）



アリシア 恵子 ブレンズ  
（アメリカ）

沖縄への旅行は今回が初めてではありませんが、このツアーが最も思い出に残るものであることは確かです。同世代の同じ背景を持つ若者達と、沖縄人であることがどんなことなのか話し合う初めての機会となりました。飛行機の旅は長く疲れましたが、ホテルに到着したときはとてもワクワクしました。次の日、ホテルに滞在している人たちに会うことができ、また沖縄の男の子や女の子たちに会えたのも楽しかったです。ツアー中は他の人たちとコミュニケーションをはかるために努力し、楽しい時を過ごすことができました。私は日本語が少ししか話せませんし、日本語も英語も話せない参加者もいたからです。それで、違う国から来た人たちと話すことは「力をあわせての努力」でした。

知事にお会いできたのは光栄なことでした。みんなにとってもそうでした。写真を一緒に写すことができたのもとても嬉しかったです。その日にはA・Bのグループ分けもありましたが、私はグループのメンバーについて不満はなく、すぐに友達になりました。グループの女の子たちがルームメイトになりました。私達はグループに分けられましたが、その他の人たちと過ごす時間もたっぷりありました。バス乗車中、見学中にも時間がありましたし、ホテルでも自由時間が十分ありました。またゲームやダンスを通して他の人と知りあい、うち解けることができました。そしてこのツアーが期待していたものよりも更にいいものになると確信できたのです。

次の日、平和祈念資料館へ行きました。私は資料館に行くのが好きです。今回首里城へも行きましたが、そこへは前回の旅行の時にも行ったことがありました。でもガイドさんが説明して下さったので、今回の方がずっとよかったです。平和祈念資料館では沖縄の歴史について新しい面を知ることができました。沖縄戦についてはあまり知りませんでしたが、映画を通して、私の母の家族がどんな経験をしたのかが分かったので、見ることでよかったです。ホテルに戻ってからは平和について討議しました。他の参加者が資料館で見たこと、感じたこと、そして平和についての意見を知ることができ、とてもいい経験でした。

翌日は、日本について学ぶ機会があり、私は空手を選びました。空手をしている人について聞く機会がよくありましたし、空手の演舞を見たとき「どのくらい難しいのだろう」と疑問に思っていたからです。それで挑戦してみたのですが、想像以上に難しかったです。空手には沢山の訓練と努力が求められることがわかりました。もし今度誰かが私に空手をしていると話したなら、上手になるためにどれほど努力しているか、どれほど練習が必要かについて思い起こすことができます。

嬉しいことに沖縄で私の親族と過ごす機会がありました。親族と会う機会が限られているため、親族と共に過ごす一分一分が貴重でした。私は沖縄で買い物するのが大好きなのですが、もしかすると買い物に行けないのではと心配していました。それで親族が買い物に連れて行ってくれたときはとても嬉しかったです。その翌日には閉会式とさよならパーティに向かいました。そこで、記念品として素敵なアルバムを受け取りました。ツアー中、私達を追いかけ回しているカメラを邪魔に感じましたが、それだけの価値はありました。中にはとてもいい写真があって、アルバムをいただいて嬉しかったです。

みんなにお別れをいうのは難しいことでした。これからも連絡を取りたい素晴らしい友人ができたからです。最後の晩、みんな一緒にホテルで過ごしました。最後の晩でしたから休みたいありませんでした。そし



## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）

てもう会うこともないかもしれない友人たちと語り合いました。グループが出発したのは寂しかったのですが、家に帰ることもとても楽しみでした。みんなに別れを告げ、長いフライトにむけて飛行機に乗り込みました。このツアーは私にとって素晴らしい経験で、沖縄に来ることができとても嬉しかったです。このことは決して忘れないでしょう。このツアーに関係する全ての方々、ツアーを組織し資金提供して下さった沖縄県に感謝しています。このツアーによって百人の子どもたちが自分の文化について学び、そして世界中にいる同じ沖縄出身の親族を持つ大勢の人に会う機会になりました。世界の反対側に住んでいても、自分の中にいる沖縄を私は決して失ったりしません。



マイケル ハーカー  
(アメリカ)

沖縄は私が記憶しているより十倍も素晴らしかったです。このツアーでは、新たな素晴らしい体験をすることができました。平和祈念公園ツアーからは沖縄県民が戦時中どのような体験をしたかについて知ることができ、目を開かれる思いがしました。アメリカの歴史を学ぶ限りでは何が起こったのかこれまで全く知りませんでした。

沖縄の人たちはアメリカ人と比べるととてもフレンドリーで親切でした。友人や親族みんながとても懐かしいです。特にたすくに会いたいです！！たすくは一番面白い人でした。世界中から来たウチナーンチュに会えたのも良かったです。

沖縄にまた戻ることができたらとてもうれしいです。このような素晴らしいツアーを計画して下さったスタッフの皆さん全て、そして沖縄県に感謝しています。どうもありがとうございました。



### 私にとっての沖縄

嶋 崎 妙 美  
(フィリピン)

沖縄ではお店がとてもきれいだと感じました。そして、そこで働いている人たちが人生の半分近くもお店で働いて過ごすことを知って、素晴らしい人たちだと感じました。お店は全てエアコンがきいていて、きちんと整っていましたが、道路には泥棒もストリートチルドレンもいませんでした。フィリピンとは違って、歩道にたむろしている子どもたちや大通りに散らされたゴミもありませんでした。

日本では、お店に入るときにお客の鞆を点検したりはしません。そのことから日本人がどんな人なのかが分かります。フィリピンではどこのお店に行っても、警備の人が泥棒や爆弾をしかける人がいないかどうか調べるために鞆を点検します。

私が日本の事で驚いたのは、第二次世界大戦の後、沖縄は貧しい土地だったということです。しかし、そのような状態は長く続きませんでした。大戦の後、フィリピンの生活水準は貧しい沖縄よりもっと高いものでした。両国の市民は、生活を向上させるために一生懸命働きました。しかし、沖縄はもっとよいところとなっています。なぜならば、フィリピンでは政府高官の殆どが腐敗しており、仕事を行うよりもギャンブルを行っているからです。沖縄県民は、フィリピンの人のようにフレンドリーでもてなしの心や気遣いがあります。しかし、フィリピンの人全てに責任感や正直さが見られるわけではありません。もしフィリピンにもそのような道徳があるなら生活の質がもっとよくなるでしょう。

首里城は再建されたものですが、現物とまったく同じように建てられていました。フィリピンでは城のあるところに英雄達の家があります。そこはフィリピン人が侵入者と戦った場所です。このような地が、首里城も同様に政府によって保護され、次の世代もそれを見ることができ、10世紀から15世紀にかけて何が起こったのかを知るようになることを願っています。私自身一生懸命勉強して、大人になった時には、腐敗に関与する人々の手から国を自由にできるよう助けていきたいと思います。

平和祈念博物館の中では、みんなが平和について考えるところにいるのだと感じました。第二次大戦の映画も鑑賞しました。私は自分のルーツである人々が平和のために亡くなったことを誇りに思いました。ホテルに戻ってから、映画についてどのように感じたかについての意見交換を行いました。フィリピンの人々は残念ながら自分の土地のために戦いました。しかし、沖縄の人たちは戦うよりも自決を選択しました。その理由が今は理解できます。戦わずして亡くなることによって、平和のために亡くなったことが明らかになるからです。

フィリピンのミンダナオは危険な島です。なぜならば反乱軍が彼らのために島を欲しがっているからです。島が彼らのものになったとしても、誘拐やが虐殺がなくなるわけではありません。それで政府は彼らの要求をのみたくないのです。ミンダナオは私達にとって重要な土地です。そこでは野菜や果物、魚介類がとれます。私達は皆完璧ではありません。むしろ間違いをおかす傾向のあるただの人間にすぎません。だからこそ戦いがあるのです。全ての人と同じでありながら、それぞれが個性をもっています。そのため私達の行くことにだれかが同意しないということが起こってしまうのです。意見が食い違ったり、互いに理解しあえなくなると、なにか勘違いがあったり、そのような意図がなかったとしても争いが始まってしまいます。忍耐強くあり、積極的に考え、礼儀正しくあるなら戦うことを阻止できると思います。同意できないときにも、反

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）

論を述べる前に自分について考えてみて下さい。自慢したり、横柄だったり、過剰に自身を持ったりしてはいけません。そのような人は憎まれるからです。いつでも法に従い、間違いを犯したときには謝れるようにして下さい。誰かと約束をしたならやぶったりしてはいけません。いつでも心を広く持ってください。それはあなたがちょっと立ち止まって、しっかり考えようとする時に助けになります。冗談を言うのも相応しい時にして下さい。そうすれば冗談を言っている相手を傷つけることもありません。

私の友人達は明るく、フレンドリーで、思いやりがありました。いつでもお互いに理解し合えたわけではありませんが、一緒にいることを楽しむことができ、感動しました。ひとりぼっちの時には元気づけてくれたので、一緒にいてとても楽しかったです。難しい中、お互いに言葉を教えあうのは楽しいことでした。食事も量が多かったのですが、美味しかったです。



デイル リチャーズ  
(アメリカ)

私はデイル リチャーズといます。ジュニアスタディーツアーに参加しましたが、素晴らしい経験と楽しい時を過ごすことができました。まず、このツアーを実現して下さった沖縄県に対してお礼を言いたいと思います。今回11年ぶりに沖縄に来ることができただけでなく、私の親族にも初めて会うことができました。新しいことばかりで、皆さんはとても親切でした。食事もおいしかったです。

ツアーもとてもおもしろかったです。県内の城やビーチ、エイサー、洞穴、祈念公園等々訪れることができました。そして、このツアーで最も素晴らしかったのがいろいろな人達に会うことができたことです。世界中の異なった場所から来た人が大勢いて、とてもすごいことでした。ドイツ、グアム、ブラジル、カナダ出身の人に会いました。そしてホテルでエレベーターに乗っていたときにはアイルランドの方にも会いました。沖縄でとても楽しい時間を過ごし、多くを学びました。また近い将来戻ってきたいです。すばらしい時間をありがとうございました。



### 沖縄での体験

チヨミ サンタ ローサ ランセス  
（フィリピン）

2001年7月22日に初めて沖縄にやってきました。そして今回が最後の訪問にはならないことを願っています。

フィリピン沖縄県人会からの他二名の代表者、そして引率者であるトヨコ 照屋 エリセオさんと一緒に沖縄に向かいました。

私はフィリピンからジュニアスタディーツアーに参加する代表者の一人に選ばれてとても嬉しかったです。ジュニアスタディーツアーは2001年11月1日から4日まで開かれる、第三回世界のウチナンチュ大会のイベントです。私はとてもわくわくしていました。なぜなら、私は父方の祖母の故郷である沖縄との一体感を持つためにそこに行ってみたいと思っていましたし、沖縄にいる親族と知りあいたいと思っていたからです。

沖縄に到着したとき、沖縄の人たちが示して下さった喜びに溢れた歓迎に圧倒されました。とても温かく、もてなしの心があり、フレンドリーだったからです。まるで故郷にいるかのように感じました。そして、初めて会う親族が私を迎えるために空港にやってきていて、飛び跳ねたり私に手を振ったりしているのを見ると、涙が出てきました。

滞在予定の国際ユースホステルに向かいながら、周りの景色に惹きつけられました。とてもきれいで、片づいており、秩序だっていました。環境の汚染も見られません。一番すばらしいと思ったのは、よく整えられた交通システムで、沖縄の運転手達がよく教えられているという点です。

次の日はジュニアスタディーツアーの一日目でしたが、まだだれも知らなかったのが、緊張感が漂っていました。アメリカ合衆国、南米、ヨーロッパ、また沖縄からの代表者が集いあって、ツアーでどんな活動を行うのかについてオリエンテーションがありました。二日目はもっと楽しく、活気あるものとなりました。私達は他の参加者へ紹介されました。母語と日本語しか知らない、英語の話せない参加者とはコミュニケーションの面で少し問題がありましたが、互いによく知りあうことができました。実は私も日本語ができませんが、調べることでできる本を持ってきていたので、流暢でないにしても沖縄からの参加者達と話すことができました。次の日からはツアーや話し合いがたくさんありました。私達はグループに分けられましたが、それは、他の代表者達と知りあう一番良い方法だと分かりました。みんなとてもフレンドリーだったので、一緒に過ごすのが楽しかったです。代表者の間には仲間意識がありました。

ツアーがすすんでいく中、沖縄の過去や現在について新たに学んでいくことができました。私達は映画を鑑賞して、その後にグループディスカッションを行いました。沖縄の歴史、人々、文化、伝統を学ぶことで心がとても温かくなりました。その時私は自分が正真正銘のウチナンチュであることを認識しました。自分の第二の故郷について大切なことを学ぶことで、本当に感動させられました。他の参加者も同じように感じたと確信しています。

私達は博物館等の主要な場所を訪ねました。首里城の美しさには魅了されました。沖縄の人たちが大切に保存していくために、どのように首里城を再建したかを知り感動しました。それはとても魅力的で、美と栄光を備えています。まるで夢の中にいるかのように感じました。でも私は本物の首里城が残されていたらもっ

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）

とよかったと思います。なぜなら、私達を過去の世界へと連れていってくれるからです。

稲嶺知事にお会いして、スピーチをお伺いすることができてとても光栄でした。空手のレッスン、北部へのツアー、比地大滝へのハイキング、エイサー、その他の活動全て楽しいものでした。私は食べるのが好きなのですが、食事がとてもおいしかったです。

親族の所に一泊する機会もありました。親族が私にどんな印象を抱くのか考えていたので楽しみでしたが、同時に少し不安もありました。しかし、心からくつろげるようにして下さったので、私の心配は和らげられていきました。とても楽しい時間をすごしましたので、会えなくなって寂しくなります。

ツアーを修了できたのは嬉しいことでした。また、修了証書をうけとることができたので誇りに思いました。

最後の日は、それぞれに別れを告げ、自分の国へ帰らなければならなかったので悲しかったです。このツアーで強められた友情はずっと記憶に残っているでしょう。

全体的に見て、このツアーは洞察に満ち、教育的で楽しいものでした。しかし、スタッフのみなさんが、もっと十分な時間を設けて下さっていたらよかったと思います。そうすれば、沖縄の美しく魅力的な景色をもっと楽しむことができたでしょう。でも、スタッフのみなさんは、概してよく助けてくれました。また、予定表に記されていた他の場所にも行くことができたならよかったと思うので、もう少し時間が欲しかったです。沖縄の美しさや魅力的な所をもっと見るのができたらよかったと思います。

今私はフィリピンに戻って、両親や友人、クラスメート、先生、親族に、沖縄やツアーでの参加者間の友情やすばらしい経験について話すことができます。

ツアーでの体験は忘れずに大切にする価値があります。

沖縄にまた再び、近いうち戻ってきたいと思います！

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）



マリア ジェイリン ディキアツコ  
（フィリピン）

沖縄！

祖母や母より聞いたことしかなかった土地。母やその兄弟達が生まれた土地。米軍基地があるためにかつてアメリカ兵が溢れていた土地。

そこに行くことは夢見たことしかありませんでした。しかし、この夢も私が成長して自分で仕事ができるようになれば実現するのだと言い聞かせていました。この夢が今、ほんの16才の高校生の際に実現するとは思ってもみませんでした。フィリピン沖縄県人会は、他の国からの三世と共に、意見や文化、芸能交流の機会へ参加できるよう、三人の代表者の一人として私を選んで下さいました。参加者との接触を通して分かったのは、人生の殆どをどの国で過ごしたかにも関わらず、私達全ての中にはなんらかの沖縄の要素があるということです。なぜならば受け継いだものがまだそこにあるからです。祖父母や両親がこの伝統を私達に引き継いだように、私達もそれを子や孫へと伝えていくのです。

ようこそ！「同郷の仲間」からの温かい歓迎。初めて出会った人からあれだけの温かさや愛情を感じたことはありませんでした。みなさんといると本当にくつろげました。とても親切で、温かく、もてなしの心に溢れていました。私は自分が受け継いでいるものやウチナーンチュであることを誇りに思います！



知念賢吾  
（フランス）

今回、初めてジュニアスタディーツアーに参加させて頂き、県主催側、そしてスタッフ、ボランティアの皆様にご心より感謝いたします。

このツアーは、私にとって未知の文化とのふれあい、そして交流を通して人間性向上に非常に勉強になったと思います。

現在、アメリカやヨーロッパのスタイルをまねる傾向にある日本の多くの若者達と共に沖縄の素晴らしい文化が忘れ去られる事がないよう、いつまでもその精神文化を引き継いでいく必要があると思います。その意味において将来の後継者の為にいつまでも沖縄の心、伝統文化を失わないよう、海外においても私達二世、三世がこの文化を学び、そして大事に伝えていくことが重要だと思います。よって、今回のツアーが継続されることを強く希望します。

このセミナーは沖縄と招待された様々な国との間に交流の橋を架ける大きなきっかけになった事と思います。

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）

沖縄に到着した当初は、言葉の違いもあってあまり積極的な対話はありませんでしたが、徐々に一人一人が接し交流していく中で、お互いの中に喜びが生まれ、その問題を乗り越えるには、あまり時間はかかりませんでした。

猛暑と諸行事の多い中で疲れ気味でしたが、その活動は大変楽しいものでした。

問題点といえば、時差ボケとひんぱんに変わる部屋の変更が多く、それには少し疲れました。

このツアーのお陰で色々な国の人達に出会いたくさんの友達が出来たことに深く感謝し、今後もその友情を育てていきたいと思えます。

最後にお世話になった皆様に重ねてお礼申し上げます。心から感謝を込めて!!



石垣 優児  
(イギリス)

沖縄に到着した時、とても暑かったです。スタッフの皆さんからとてもあたたかく歓迎してもらいました。沖縄の歴史には興味があって、あざやかな踊りや、エイサーを見てとても素晴らしい文化だと思いました。比地大滝ツアーでは緑色の蛇や、とかげ、大きなクモを見ました。そこはまるでジャングルのようなので、オーストラリアを思い出しました。

首里城では、沖縄が中国の影響を大きく受けていることがわかりました。平和祈念公園で戦争のビデオを鑑賞したときには悲しかったです。大勢の沖縄の人が亡くなったのはとても悲しいことです。

友達と一緒にキャンプファイヤーのまわりで歌ったり踊ったりしたので、やんばるに行ったことが一番楽しかったです。

ジュニアスタディーツアーに参加できるよう沖縄に招いてくれたことに感謝しています。とても楽しかったので、ぜひまた沖縄に来たいです。

## ジュニアスタディーツアーに参加して（海外参加者）



松川ルカ  
(ドイツ)

今年、僕はパパと一緒に沖縄に飛びました。その時の事を皆に伝えたいと思います。

まず、沖縄の自然はとても素晴らしいです。その気温（毎日約35℃）のせいで長さが9 cmもあるセミや虫、香りのよい熱帯植物などもあります。砂浜もとてもきれいで一度など小さなほそながい魚を手でつかまえることができました。>°)))))

その魚、持っていきたかったけどやっぱりだめでした。

また、あんなにたくさんの人々に誕生日を祝ってもらったのも忘れられません。

沖縄の歴史についても、もちろんみんなに伝えたいと思います。

沖縄の長い歴史の中からも、三山時代からはじまりました。

当時 その他の島々も含めて”琉球諸島”と呼ばれて、北山、南山、中山と問わず中国と貿易で栄えていました。

今回のことで一番感じたことは、まとめていうと亜熱帯の沖縄は美しく、あつく、すばらしく、そしてクールです。だから毎年沖縄の親戚のところに行く事が出来たら本当にどんなにいいだろう。





## ジュニアスタディーツアーは一生の宝

宜野座小4年

知名 倫子

私にとって、このツアーは学校では学ぶことのできないおおくのことを体験することができました。今、一番思い出にのこっているのは、ポリビアからきた大城ニカリちゃんと友達になったことです。ニカリちゃんからは、ポリビアのことや、スペイン語を教えてくださいました。いっしょに暑いなかにはの町を散策したことや、玉泉洞でエイサーをおどったことや、ホテルでいっしょにお風呂にはいったこともたのしい思い出です。

「ニカリちゃん今ごろどうしてるかな。」

いつのひかまた、あいたいです。そのほか、とくに、いんしょうにのこったのは、アメリカから来たジョセフジョーンズ君という15才の男の子のおどりが地元の指導の女の子よりうまかったのは、おどろきました。

ディビット君のダンスもかっこよかったです。さよならパーティーでは、私はニカリちゃんにお母さんが作った森の精のマスコットをあげました。ニカリちゃんはうれしそうでした。パーティーが終わりに近づくとみんな泣いて別れをおしました。

私にとってこのジュニアスタディーツアーは一生の宝になります。

最後にこのツアーのなかで一番年下の私を助けてくれたスタッフのみなさんやグループリーダーのジョージ浦崎さん、佐久田智世お姉さんほんとうにありがとうございました。



## 夏休み一番の思い出

漢那小5年

又吉 椎 菜

私のこのスタディーツアーでの目標は今まで習った英語を一言でもいいからしゃべることでした。

この研しゅうでも、最初見た時は外国語をしゃべっていたのでちょっと心配でした。私と同じへやの人は、ペラペラ英語をしゃべっていたのでしゃべるきかいはあまりありませんでしたが、一人にいる時などいろいろおしゃべりしました。

私のしゃべった英語が通じた時、とてもうれしかったです。

ふだんは使わない言葉をしゃべったりして世界の人達とふれあうことができてよかったです。

これからもいろいろな国との交流を深めるため、いろいろな国の言葉や文化、歴史などを勉強したいです。

夏休みの一番の思い出ができてよかったです。



### ジュニアスタディーツアーの思い出

南風原小4年

仲田尚仁

「コモ？」これは、スペインの言葉です。

「えっ？」と言う意味だ。県系三世、ホセミツオ仲村オロスコさんから教えてもらった。

ほくは、この夏休み第三回世界のウチナンチュ大会プレイイベント「ジュニアスタディーツアー」に参加した。50人の県内参加者に加わえ、海外参加者アメリカ、カナダ、ペルー、ボリビア、アルゼンチン等県系児童と学習、体験、交流を共にした。初めて親からはなれた1週間。ドキドキ不安と期待。宿泊先のユースホテルに着いて、たくさんの人々と荷物をかきわけて受付をした。おそろいのTシャツの上にネームプレート为首からかけて、最初はオリエンテーション。ツアーの目的や、いなみね知事から話を聞いた。参加者の中で一番チビなほくは、周辺をキョロキョロしてたよりになるはん長をさがした。中学二年のお兄ちゃんに手を引かれ「平和学習、文化げい能体験学習、やんばるエコツアー、なきじん城し、首里城見学と全行程をこなした。平和祈念資料館に行きせんその映像を見せてもらった。平和のいしじ、第32軍壕跡、健児の塔、平和祈念堂を見学した。せんそのこわさを知った昼間は、バスで移動しているにもかかわらず夜も元気におそくまでおしゃべりをして、あそんだ。同じ部屋では、日本語を話せないお友たちが4人もいて、本をかた手にジェスチャーを交えて会話をした。うまく言葉や気持ちが伝わらずこまったこともなんどもあった。部屋に集まってこわい話を聞いたり、ゲームをしてあそんだ。スタディーツアーに参加してほくは、一週間も海外の人と交流できて本当に良かったと思う。海外のお友だちの方がほくよりも沖なわの文化や歴史、げい能などにくわしく、よく勉強していた事におどろき、はずかしくなった。ほくは大きくなったら、かならずこのツアーに参加したお友だちに会いに行こうと思う。そして沖なわ県と、外国とのかけ橋となり、ネットワークをかく大発てんさせるために働きたいと思う。一週間の体験、レクレーションなどを通してどこまで交流を深めたか不安だが、最終日の「さよならパーティー」はみんなだき合っていない。ほくは、ウチナンチュとして生まれた事にほこりを持てる大人になりたいと思う。スタディーツアーの思い出をむねに。みんなの笑顔を残して。



### 世界が広がったジュニアスタディーツアー

志真志小5年

平良久美子

私はジュニアスタディーツアーに参加して、今帰仁城跡や首里城跡の歴史、第二次世界大戦（沖縄戦）のおそろしさ、玉泉洞王国村でのエイサーなどの文化のすばらしさや、けさじのマングローブ公園での自然の美しさなど、今まで知らなかったこと、さらにくわしく知ったことなどとてもいろいろなことを学びました。

## ジュニアスタディーツアーに参加して（県内参加者）

また、海外の人達との交流を通じて、友達もでき、世界が広がり、うれしく思いました。

私は、これからはますます国際交流が必要な世の中になってくると思います。

これからは英語や中国語、スペイン語などの語学を身につけ、沖縄の心や文化に誇りを持ち、世界平和に役立つ人になっていきたいと思っています。

最後に、スタッフの皆さん、本当にお世話になりました。ありがとうございました。



### とても楽しかったジュニアスタディーツアー

城西小5年

仲本達郎

ぼくは、ジュニアスタディーツアーで、おもしろいことがたくさんありました。

友達と、テレビを見たり、ごはんをたべたり、とてもいい思い出になりました。

もう一つの思い出は、さよならパーティーの時でした。

たくさんの仲間と歌ったりおどったり、ちょっぴりかなしかったけど、とてもたのしかったです。

これからも、このけいけんをいかして、いろいろな世界の仲間と交流したいと思っています。



### イチャリバチョーデー

知念小5年

新垣史織

私は、このツアーでいろいろな体験をしましたが、みんな、沖縄の心があることに感動しました。イチャリバチョーデーまさにその通り、すぐにとけこむことができました。私は、いつも引っこみじあんな所があり、このツアーでも、みんなの後ろからついてまわり、自分から声をかけたりできなかったのが、今でもくいに残っているのですが、沖縄からはなれていても、沖縄の文化を身につけている友達、私も、これから、もっともっとがんばりたいと思いました。

このツアーではじめて自分が沖縄のことをよくしっていないのがはずかしいと思ったので、これからの国さい交流に向けて、海外の子供達に負けない様にまず自分の足もとである沖縄県の文化や歴史について勉強したいと思いました。

## ジュニアスタディーツアーに参加して（県内参加者）



北玉小5年  
目取真 輔

ほくは、玉泉洞王国村で体験したことは空手とエイサーでした。空手では、友達のたつろう君が空手を習っているの、わからないところは、たつろう君にききながらしました。エイサーもみんなのできたから楽しかったです。

交流したことは、みんなでバーベキューをしてそのあとにキャンプファイヤーをしました。

そして、山原エコツアーで比地大滝なども行きました。最後の日のさよならパーティはみんなでおどったり、三味線など、きいたりしながら夕食を食べました。最後は、みんな泣いていました。ほくも、なきました。そのときは、わかれるのがかなしかったからです。

最後に、国際交流への自分の目標は、大人になって、英語をおぼえて、海外の人たちともっと交流をふかめていきたいです。



## 大切なことを学んだジュニアスタディーツアー

若狭小6年  
城間祥大

7月23日の朝、ほくは、心がウキウキしていました。この日から、ジュニアスタディーツアーが始まるからです。ジュニアスタディーツアーとは、世界18ヶ国の子どもたちが集まって、沖縄のことを学ぶというツアーのことです。

ほくは、このツアーで、二つのことを学ぶことができました。それは、「沖縄のすばらしさ」と、「友情」です。

この一週間、平和学習や伝統芸能などの、沖縄の文化、歴史、自然などが体験でき、とても勉強になりました。特に、平和学習においては、沖縄戦という悲しい歴史を学び、また、各国の人々の意見を聞き、二度と戦争をおこしてはならないと思いました。だからこそ、築かなければならない平和のとうとさも感じられました。

そして何より、海外や県内の友達を、たくさんつくることができました。初日は、言葉が通じないのに、すぐに友達ができるかなあと、不安でした。しかし、いつの間にか、たくさんの友達ができていました。ほくは、言葉が通じなくても、気持ちが通じれば、友達になれるということを知りました。

ほくたち家族は、ホームステイを受け入れることになり、北米の友達を泊めました。ほくたちは、北部のホテルに行って海底船に乗り、沖縄のすばらしい海を体感しました。きれいなさんご、美しい海を見て、友達は感激していました。ほくは、2日間一緒に過ごせて、本当によかったと思います。

## ジュニアスタディーツアーに参加して（県内参加者）

最後の日の、さよならパーティーでは、もう、会えないんだと思うと、とてもつらい気持ちになりました。しかし、別れるのはつらいけど、れんらくを取り合って、いつまでも友達でいたいです。

このように、海外の人とさすなを深めるということは、とてもよいことだと思います。世界のかけ橋になるし、世界のことを知ることで、争いごとなどが、おこらないからです。このツアーが、毎年行われてほしいです。また、ぼくたちの沖縄から外国へ出かけるのもよいことだと思います。このツアーでつくった思い出は、いつまでも、わすれたくありません。

ぼくをこのツアーに参加させてくれたお母さん、ツアー中にずっとつきそってくれたスタッフのみなさん、ほんとうにありがとうございました。



### みんなの心が一つになった ジュニアスタディーツアー

城南小6年

照屋寛佳

7月23日の朝、ユースホステルに集合してみると、頭ではみんな知らない人達だとわかってはいたけれど、実際その場になると、一週間いっしょに過ごす事がとても不安だった。

その日の夕方、県庁で行われたウェルカムパーティーの中で、自己紹介ゲームをやって、今まできん張していたのが、リラックスしてきた。周りの友達もなれた感じがしてきた。

パーティーのフィナーレに、みんなでカチャーシーなどたくさんのおどりをおどりました。

とっても楽しくて、おどりまくりました。

周りのみんなもノリノリでした。

みんなの心が一つになった様な気がしました。

その後の日程も楽しく過ごせました。

言葉が通じない友達とは、ジェスチャーでコミュニケーションを取る事ができました。

7月29日最終の「さよならパーティー」が終りに近づいてきた時、  
「まだ帰りたくない。」  
と思いました。



## たくさんの友だちと交流ができた

伊江中1年

知念 鈴 奈

私がこのジュニアスタディーツアーに参加しようと思った理由は、県内や外国のみんなとの交流を深めたいと思ったからです。

じっさいにツアーを体験した感想は、自分の中で考えていた、たくさんの人たちとの交流がじつげんできてとってもうれしく思いました。

私が一番楽しかったことは、同じ部屋の人達と夜までベチャクチャしゃべっていたことです。その中にアメリカの人もいて、私がほとんど英語がわからなくて「何言ってるのかわかる？」って聞いたら教えてくれたりしてうれしかったこともありました。

外国のみんなのかんげいパーティーの時はみんなで「5、6、7、8」を踊ったり、「マカレナ」を踊ったりしてもりあがりちょうたのしかったです。

でも、最後の日のお別れパーティーは、楽しくもあり、かなしくもありました。

ツアーの時のビデオを見たり、アメリカの男の子が琉球舞踊を踊ったりしてとても楽しかったけど最後にみんなで歌をうたってたたら、もうこれでみんなと会えなくなるんだと思って、とても悲しくなり、涙がでできました。まわりのみんなが泣くなって言っても泣いてる人を見たり、みんなを見たら、もっと泣きたくて涙がとまりませんでした。

このツアーは私にとってとってもいい体験でした。友達もたくさんでき、勉強にもなって本当におうぼしてよかったなあと思いました。そしてみなさんありがとうございました。



越来中1年

仲間 良 成

あれから約2ヶ月がすぎました。

僕は、これに出て、本当によかったです。

いろいろな友達や、仲間ができました。

最初、ほくは、こんな大ぜいの人がいる、ほくは、本当に、この人たちと、うまく仲良くなれるか不安でした。でも、リーダーが声をかけてくれて、なんとかグループとかとは仲良くなれました。でも、あとの人達とは全然ダメでした。でも、本当にグループ達と仲良くなれたことでもうれしいです。今も、手紙とかで文通しています。心からとてもうれしいです。スタッフのみなさん、ほくをこの大会に参加させてくださって本当にありがとうございました。



### ジュニアスタディーツアーで考えたこと

沖縄尚学中1年

牧山梨紗

このツアーに参加してよかったなあと思ったのは、世界中の人達と平和についてかんがえられたことです。それに祖国である沖縄を知ってもらい、とてもうれしい気持ちでいっぱいです。

参加した人達は、とてもやさしく、明るくて、一週間があつという間に過ぎていきました。私は、沖縄をもっと知ってもらいたいです。そして、私自身も、いろいろな国のことを知りたいです。そして、一人一人が自分の国、友達の国を知ることによって争いは、なくなると私は思います。この世界に平和が一日でも早くくるためにもいろいろな国を知る必要があると思います。

このツアーに参加して本当に良かったです。

早く、早く、早く……

平和になるといいです。



### ジュニアスタディーツアー学んだこと

古蔵中1年

仲程祐介

ほくは、このツアーに参加して、学んだことは、語学、沖縄の歴史、文化などです。

そして、なにより、世界各国のウチナンチュの人と、友達になれたことがとてもうれしかったです。

最初は、言葉が通じなくて、とまどう所もあったけど、おたがい、どうさや手まね、かたことの英語で、話し、自分の考えがたわった時、とてもうれしかったです。

今回の、きちょうな体験をとおして、沖縄のこと世界のことを、もっともっと勉強し、このツアーで学んだことを、生かし夢に、向かってがんばっていこうと思いました。

また、何年後かに、ツアーに参加した、一期生のみんなと、再会できることを、願っています。



### 期待どおりのジュニアスタディーツアー

港川中1年  
成 底 徹

沖縄の事を知りつつ、ほかの国の事がわかる、一石二鳥という期待どおりのジュニアスタディーツアーに参加して、沢山のウチナンチュが世界各国で活躍している事や、残酷な沖縄戦の事、沖縄の美しい自然と生物、玉泉洞王国村での三味線の体験など毎日が楽しく充実していました。

世界各国のウチナンチュと約一週間一緒に過ごして思った事は、もっと自分の視野を広げ、外国語を勉強して、自由に会話がしたいと思いました。そのためにはこれからも積極的にジュニアスタディーツアーのような交流に参加して、いつか自分も世界をまわってみたいと思います。できたら、何年先になるかわからないけど、ジュニアスタディーツアーと一緒に過ごした友達の国へも行きたいです。ジュニアスタディーツアーを企画して下さい事務局の皆さん本当にありがとうございました。



### ジュニアスタディーツアー学んだこと

知念中1年  
仲 里 彩 夏

私がこのジュニアスタディーツアーに参加した理由は、自分の苦手な事をなおしたいと思ったからです。

私は、人と接するのが苦手な友達をつくるのがうまくありません。人と交流するのも、あまり好きではなく、一人にいる事が多いので、そういう事を少しでもなおそうとこのツアーに参加しました。

最初は友達ができるかすごく不安でした。でも、勇気を出して声をかけてみたら、相手も笑顔で答えてくれたのでとてもうれしかったです。

日をおうごとにみんなにもなれて、気軽に話かけられるようになりました。言葉はあまり通じないけれど、心はどんな人でも伝わっているんだなあとこのツアーを通して思いました。私は、人と接する事の大切さをこのツアーで学びました。ありがとうございました。





## 忘れられない思い出

東風平中1年  
屋嘉比 梢

今回、初めてのジュニアスタディーツアーは、友達もたくさんでき、外国人の方々とも仲良くなれてとても楽しかったです。

最初のうちは、友達がたくさんできるかとか、外人の人ともしゃべれるかとても心配でした。でも実際に、いろんな人が話しかけてくれたり、自分からしゃべりかけたりしてたくさんの友達ができ、とてもうれしかったです。

一番印象に残ったことは、最後の夜にダンスパーティーをしたことです。私はあまりおどらなかったけど、外人の人は、さすがだなーと思いました。

今回、ジュニアスタディーツアーに出れて、本当に良かったと思います。いろんな人と共に学び合ったり、ふれ合ったりして、とても忘れられない思い出になりました。

この思い出を一生忘れません。



## とてもいい交流ができた

那覇中1年  
玉城 彩衣

私は、このツアーに参加して、とてもよかったなあと思いました。友達もいっぱいできたし、外国の人とも文通ができるし、とってもいい交流ができたと思います。

自分なんかは、沖縄本島に住んでいる人もいますので、何回も行った所もあったと思うけど外国の人達と一緒に見学とかしたので、またちがう体験や発見ができたと思います。

また、修了式、さよならパーティーでは、起きたらいつもとなりにいた人がもういなくなるのでとても悲しかったです。また、みんなとあいたいなあと思いました。

また、何年後かにこのツアーに参加した人みんな集まってなにかやりたいなあと思いました。そして、またこのツアーに参加したいなあと思いました。

とても、いい思い出になりました。

ありがとうございました。



## ウチナンチュとして誇りをもつことができた

那覇中1年

松本佳子

私は最初勉強をするつもりで行ったけど、みんなを見たしゆん間に勉強の事なんか忘れてあそんだり友達になったりしようということだけが頭の中に入りました。思った通り私は友達とばかり遊んでいました。だけどいろんな所に見学に行くたびちゃんとしたことを調べたし考えることが自然にできていたと思います。

これを通して、私は一番身近かに住んでいるこの地域のことが今までよりもっと深く深く知ることができたとし、他の県の人に少くくは話したり説明したりすることができるようになったし、今まで気づけなかった沖縄のいい所を知ることができて沖縄のことをどこの人にも自慢することができると思います。外国に住んでる人達もみんなこれに参加して沖縄が素晴らしい県で、自分達ももっとウチナンチュとして誇りがもてたと思います。



## ダイヤモンドよりも輝く素敵な思い出

伊江中2年

東江真理子

たくさんの期待を胸に、参加したジュニアスタディーツアーで私は、今まで知らなかった沖縄の歴史や文化、食べ物を新たに発見したり、とても素晴らしい経験ができました。

その中でも私が特に良かったと思う事は、世界のいろいろな国、沖縄のいろいろな地域に友達ができた事です。一緒にエイサーや川登りを体験したり、首里城などを見学したり、自分の国の事や言葉を教えあったり、ボールとかで遊んだりして、とても楽しかったです。

そしてこれからは、手紙やメールなどで交流し、もっと友情を深めていきたいです。

私にとってこのツアーは、ダイヤモンドよりも輝くとても素敵な思い出になりました。

またいつか、みなさんと会える事を楽しみにしています。

どうも、ありがとうございました。



### はじめての国際交流体験

伊良波中2年  
与那嶺 悠

私は今回の、ウチナンチュ大会で、沖縄の歴史や伝統、そして、他国の言葉や生活の違いを学べて、すごくいい体験になりました。

今まで国際交流の機会がなかったので、最初は、他国の人とうまく話せるか、自分の言いたい事は通じるか不安ばかりでした。

やっぱり、最初はそんなに言いたい事が通じず、ジェスチャーなどでなんとか話していました。でも、日に日に少しずつだけど、通じるようになって、少しでも会話ができた時は、すごくうれしかったです。

私はツアーに参加して思った事は、自分がどんなに他国の言葉や、生活の違いを知らなかったかすごく分かりました。これからは、いろいろな国の事や、言葉をたくさん覚えたいと思います。今度又、機会があれば参加したいです。今回のツアーはすごく楽しかったので、この思い出は絶対忘れないと思います。



### 戦争の起こらない未来をつくる

嘉手納中2年  
古 謝 ちひろ

私はジュニアスタディーツアーに参加して、私も知らなかった沖縄の歴史をいろいろと学び、外国の友達もたくさんできました。

そしてその友達とたくさんの思い出もつくることができましたし、スペイン語を少し教えてもらいましたし、日本にはないお菓子も教えてもらったし、私も日本語や方言を少し教えました。

ジュニアスタディーツアーでは、首里城や今帰仁城址、平和のいしじなどを見てきました。そして沖縄は昔琉球王国という一つの国だったことや、戦争でたくさんの人が死んだことなどがわかりました。

私はこのツアーに参加したことを一生忘れません。戦争のひさんさ恐ろしさを知った私たちが、二度と戦争が起こらない未来をきずいていかなければならないと思います。

このツアーに参加できて良かったです。



### もっと平和で幸せな沖縄、世界へ

鏡が丘養護学校中2年  
比 嘉 紗 苗

今回の参加では、いろいろなスタッフの方々にお世話になりました。

平和祈念資料館で戦争の写真展示を見た時には、戦争時代に生きてきた人々は、とても苦勞していたんだなと感じました。

いろいろな事を思い、考えながら見ていると、鉄砲を持って立っているアメリカ兵の展示が目にはいり、もし自分がその時にいたらどうなっているだろうと思うと恐ろしくなりました。

けがをしたり、死んだ人もそうだろうけど、生きてきた人の心の傷は、いつまでも残っていることと思います。

戦争のようすを勉強して、今の平和のありがたさをあらためて感じ幸せに思います。

そして、もっと平和で幸せな沖縄、世界にしたいと思います。



### みんな同じウチナンチュ

古蔵中2年  
仲 程 若 菜

長いようでとても短かった5泊6日のジュニアスタディーツアー。このツアーに参加し、たくさんの知識と思い出をつくることができ、とても嬉しいです。

最初は言葉の壁にぶつかり苦勞したけど、みんな自分から積極的に声をかけ、友達になって仲良くできたので、世界のウチナンチュと私達ウチナンチュの間には、壁なんかない、同じウチナンチュとして心が通じ合っているんだなあ実感しました。

今回、このジュニアスタディーツアーで私自身、いろんなことを学びとても貴重な体験をさせてもらい、本当に嬉しく思います。そして、このツアーを行ったことで、私達ぐらいの中高生が、世界のウチナンチュ大会に興味、感心を持ってくれたことが、何より嬉しいことだと思います。将来、このツアーで学んだことを生かせるような、国際的な仕事につきたいです。



### 言葉は通じなくても同じウチナンチュ

佐敷中2年

平 田 吉 郎

僕は、ジュニアスタディーツアーに参加して、よかったとおもいます。

初日は、誰一人知っている人がいなくて、とても不安で、おもしろくなかったけど、時間がたつにつれて、いろいろな人に、話しかけたり、話しかけられたりで、友達もたくさんできて、とても楽しかったです。

外国人の児童生徒達は、自分の親達が、ウチナンチュということで、沖縄の文化や歴史についてとても興味深く調べていたので、すごいなと思いました。

僕は、このツアーで僕が学んだことは、言葉は、通じなくても、同じウチナンチュだから、心が通じて、だいたいのは、通じることが分かりました。

今回、多くの世界のウチナンチュと友達になれた体験を通じて、これからいろいろな国の人と、交流していきたいと思います。

このツアーは、四年に一回しかやらないということなので、また四年後に応募したいと思います。そのためは、いろいろな外国語を勉強し、今回もどかしかった会話をたくさんやりたいと思います。今回は、本当にいい経験になったし、とてもたのしかったです。



### とても楽しかった国際交流

松城中2年

比 嘉 彩 賀

ジュニアスタディーツアーでは首里城に行ったり、マングローブを見たり、平和祈念資料館を見学したときは、沖縄であつたいろんなことがわかり私がイメージしていた、沖縄の姿とは、ちょっとちがった。それは、私が沖縄のことをよくわからなかったということだときずきました。私はジュニアスタディーツアーに参加して、沖縄のことをいろいろ学びました。

自分たちの部屋では、外国の人とおしゃべりをして、あいての国での生活の様子をおしえてもらったりして楽しかった。

これからは、もっと沖縄の文化を学び、またこういう交流するきっかけがあれば、あいてにおしえたりしたいです。

外国の人々と交流することってこんなに楽しいことだとわからなかったし、英語をわかればいろんな国の人としゃべることができることも学びました。



### とてもいい経験になった

興南中 2年

比 嘉 亜 樹

このツアーは、とっても楽しかったです。私にとって、とてもいい経験になりました。

私はこのツアーが始まる前までは、どういふことをやるんだろう、とか外国の人達と仲良くなれるか色々心配でした。だけど、ツアーが始まったら家の事なんか全部、忘れてました。とくに、夜みんなでの自由時間が楽しかったです。カナダのアユミさんの話はおかしくて辞典でしょっちゅう調べて話してくれました。お別れは、つらくて、みんな泣いていました。一週間ほど、ずうっと一緒にいたのに次の日からもういなくなっているなんて、とっても悲しかったです。いい友達もいっぱいできてうれしかったです。外国の友だちもぜんぜん日本の友達と変わらなくて、少し言葉が通じないぐらいでした。だから、とっても、とっても楽しかったです。このツアーで私は少し大人になれた気がしたと思います。



### 私の将来の夢

安田中 3年

古 堅 葵

7月23日から29日にかけて行われました。ジュニアスタディーツアーにおいて私は、多くの体験と共に計り知れない程の友情を得る事ができ、嬉しく思います。

やはり、初めは生活習慣や言語の違いという壁があり、なかなか海外の子供達に話をする事が出来ませんでした。しかし、私のたどたどしい英語を理解しようという態度が見受けられ、私も英語を理解しようという意識を持った事により、友達が出来ました。英語だけでなくスペイン語などを言語とする友達も出来た事で、私の将来の夢"Supporting handicapped pepole." 実現させ、世界各地を旅して、ジュニアスタディーツアーに参加した世界のウチナーンチュに再会出来る事を心待ちにして、国際社会を担う一員として国際交流にも力を入れ、次回のジュニアスタディーツアーにはボランティアとして参加したいです。



### 言葉は通じなくても友達になれる

沖尚中3年

佐久川 俊 介

このジュニアスタディーツアーで僕はたくさんの事を学ぶことができました。ツアーで学んだたくさんの事の中で僕が一番大切に思った事は、言葉は通じなくてもみんな友達になれるということでした。最初のうちは全くわからないスペイン語やポルトガル語をしゃべる人とは言葉も通じないし友達になるのは難しいかなと思っていました。しかし、日本語も話せる人に通訳をしてもらったり、その言葉を教えてもらったりして話しかけると、相手も一生懸命覚えた日本語で話したりしてくれました。それからは、恐れもせずに自分から積極的に話せるようになりました。

この体験を、将来国際的な仕事についた時に活かしていけたらいいなと思います。このような素晴らしいツアーを企画していただいて本当にありがとうございました。



### 私達のジュニアスタディーツアー

宮里中3年

謝 花 千 夏

私はこのツアーに参加のをきっかけに、外国の事に興味をもつようになりました。初め、友達一人もいなくてさびしかったけど日がたつにつれて、コミュニケーションがとれなかった2世3世の外国の子供達とも友達になり、とても楽しいツアーになりました。話し合いの時とか、みんな一人一人ちゃんとした意見をもっていてすごいなあと感じました。ただ、大人が準備して子供にさせるんじゃなくて、私達がこうしたいと意見をいうと、ちゃんと自分達にやらせてくれて、嬉しかったです。最後の夜にやったダンスパーティーは盛り上がり最高でした。また、沖縄の歴史や文化も学んで自分の知らなかった事などとてもためになって良かったです。

これからは機会があれば、又あのメンバーで集まりたいです。そして世界中に、沖縄人の輪が広がったらいいなあと思います。



## 世界と沖縄を結ぶかけ橋

小禄中3年  
普天間 一 樹

このツアーを通して、沖縄の歴史、文化、伝統や自然等について色々学びました。

今まで、沖縄で生まれ育ってきて、知らなかった事が沢山あり、逆に海外から来た人達の方が僕ら以上に良く知っていたりで、自分はずっと沖縄について勉強しなければいけないなあと思いました。

それから、様々な国にもウチナーンチュがいて皆頑張っている様なので、とても嬉しくなりました。世界中のウチナーンチュが協力し合い一つになれば何でもできるのではないのでしょうか？その為にも今回ツアーは、小さな国際交流ではあったけど絆ができ世界と沖縄を結ぶかけ橋となったと思います。又、海外や、沖縄にも友人もでき今後も交流を続けていきたいです。この様な機会があれば是非参加したいと思います。本当にありがとうございました。



西原東中3年  
玉那覇 優 香

今回、この企画に参加して、私のキャスターになる。という夢に一步近づけたと思います。

また、外国のウチナーンチュや沖縄に住んでいるウチナーンチュとも友達になる事ができました。

また、沖縄に住んでいながら、戦争についても詳しくしらなかったけど、その事についても知る事ができました。

私は、このツアーに参加して、楽しい思い出も作る事ができ、そして、沖縄についても学ぶ事ができました。

また、機会があれば、このツアーに参加したいと思いました。

こんな企画を作ってくれて、本当にありがとうございました。





## 本当のウチナンチュとして

西原東中3年

宮城 鮎子

私はジュニアスタディーツアーに参加して、色々な事を学び、感じる事ができました。他国の文化を知ったり、沖縄の文化を改めて学んだり・・・。その中で、私が一番印象に残っているのは、海外のウチナンチュが沖縄の事を愛してくれてる事でした。平和祈念資料館に行った時、戦争の体験記録をメリッサに読むと、メリッサは泣いていました。他の参加者もすごく悲しそうな顔をしていました。私は海外のウチナンチュも沖縄の事を愛してくれると知り、すごくうれしかったです。又、父や母の故郷が沖縄、生まれ育った場所が沖縄ってだけでなく沖縄を心から愛している人こそ、本当のウチナンチュだと思います。このツアーで、自分の沖縄に対する思いを見直す事ができました。このツアーに参加できて本当によかったです。ご協力してくれた皆様に感謝します。ありがとうございました。



## 友達がたくさんできた

小禄高1年

高田 真奈美

私はジュニアスタディーツアーに参加して、海外の友達や、沖縄の友達がいっぱいできました。ツアー初日、私はリーダーなので、とてもドキドキしてました。外国の人と、ちゃんとしゃべれるかな？グループの人とは、仲良くなれるかなと、心配の嵐でした。けれどすぐに沖縄の友達もいっぱいでき、外国の友達とも除々に名刺交換をして、とてもうれしかったです。今でも、外国の友達とメール交換をしたり手紙も交換しているし、沖縄の友達とも、メール交換しています。うれしいことに、沖縄の友達が誕生日会に呼んでくれました。今回は外国の人達が、沖縄に来たので次は、私が外国に遊びに行きたいです！



### これからの私へのヒント

昭和薬科附属高1年  
上原 恵里佳

ジュニアスタディーツアーに参加して、初めて海外に友達ことができました。それだけでも、このツアーに参加できてよかったと思えるのですが、考えてみれば、まだまだたくさんあります。

ツアー中に、言葉が通じなくて悩む時もありました。しかしその度に、もっと話したい！英語、スペイン語、ポルトガル語を知りたい！と思い、もっと勉強がんばったり、積極的に話していこう！という気持ちになりました。

また、県外、県内関係なく、たくさんの素晴らしい人に出逢えました。そして視野が広がり、これからの私へのヒントになったと思います。

これからもこういう機会があれば、どんどん参加して、いろいろな人と出逢い、友達になって自分自身を大きくしていきたいと思います。



### 今度はスタッフとして

石川高1年  
与那覇 恵梨

このツアーに参加した事により、海外の人々と交流する機会ができ、友達になれたのでとても良かったと思います。

また、海外の子との交流だけでなく車イスの子とも接し、いろいろ考えさせられ良い機会となりました。

英語、スペイン語、ポルトガル語と、どれもわからない言葉だったけれども、動きや身ぶり手ぶりなどでなんとかわかりました。そのわかった時、うれしくなり、その言葉をおもしろく感じてもっと話をしたいと思ったので良い体験をしたと思います。

このツアーを通して、海外へ目をむける事ができ、興味がわいたので今度5年後にまたこのようなツアーを行うとしたら、「今度は英語、またはスペイン語を覚えてからスタッフとして参加したいなあ。」と思いました。

## ジュニアスタディーツアーに参加して（県内参加者）



石川高1年  
徳里麗華

このツアーはウチナンチュ同士で寝食共にし共同生活の中で、またイベントの中でのふれあいになりました。スタディーツアーという事もあり、学びながらのツアーでしたが、勉強嫌いな私でも楽しめる内容で沖縄を中心とした学習をしましたが、県内の私にも再認識させられる部分がありました。しかしこのツアーではそういった勉強面だけでなく海外からのウチナンチュも一緒になって学ぶため生きた外国語にもふれる事ができました。私のチームメイト達はスペイン語圏だったのでもしかすると一生ふれる事はなかったんじゃないか、という貴重なスペイン語を教えてくださいました。しかも熱心に！しかしスタディーツアーだからといっても勉強ばかりではなく遊びも盛りだくさんありました。そして初めて行われるこの初めてのツアーに私が参加できて本当によかったと思います。



### 沖縄を愛している世界中のうちなんちゅ

那覇国際高1年  
中村晴枝

「学校は休めるし、外国に友達を作れる！」最初は、こんな軽い気持ちで、このスタディーツアーに参加しました。

しかし、参加してみるとどうでしょう。沖縄で生まれ育った私自身よりも沖縄を愛している世界中のうちなんちゅの姿がそこにはありました。三味線を片手に誰か一人が歌い出すと、そこに二人、三人と人が集まり、いつしかカチャーシーのダンスパーティーが始まっているのです。そんな光景、今では沖縄のどこで見ることができるのでしょうか。

私は、方言を完全に話すことも、琉球舞踊を踊ることも、三味線を弾くこともできません。言ってみれば、うちなんちゅを証明するものを何一つ身にしていないのです。

今回、自分の恥ずかしさに気づくと共に、自分自身の愛国心も再確認できました。私も、沖縄が大好き。これからも、今回お友達になれた世界中の人達と交流を続け、同じ沖縄を愛する者として沖縄の文化を守りたいです。

## ジュニアスタディーツアーに参加して（県内参加者）



宮古高2年  
伊 計 美 希

- 1) あなたが考える沖縄の誇れるものを教えてください。(自然・文化・歴史・生活など)  
自然や文化、歴史などどの分野でも誇れるものはたくさんあると思うけど、やっぱり一番誇れるものはウチナーンチュのもつやさしさだと思います。
- 2) 今回のツアーに参加した動機を教えてください。  
沖縄の歴史や文化を勉強したかったから。  
国際交流をするのが好きということもあって。
- 3) 平和祈念資料館を見学した時の感想を書いてください。  
平和記念像の大きさや美しさにもびっくりしたけど、その周りに飾ってあった折り鶴の多さにとってもおどろきました。それだけみんなの平和への願いが強いんだなあと思いました。
- 4) 今回のツアーで学んだことや感じたことなどを書いてください。(生活の違い、友達、家族、その他)  
生活の違いはあまりなくてほとんどが一緒でした。  
みんなとってもフレンドリーでたくさんの人と友達になることができました。毎日がとても楽しかったです。



## 12ヶ国の友達

宮古農林高2年  
仲宗根 智 世

私はジュニアスタディーツアー参加して本当に良かったと思います。ツアーでいろんな体験をしながら12ヶ国の友達ができただけです。体験した事とは、首里城見学、文化芸能体験、キャンプファイヤー、ダンスパーティーなどでした。キャンプファイヤーの時に南米の子が三線を弾きながら方言で歌っているのを聞いたり、サヨナラパーティーの時に海外の子が琉球舞踊を披露したりして海外の子は沖縄の芸能を忘れていないんだなと思いました。私は今までアメリカとかドイツにしか友達がいませんでしたがこのツアーを通して多くの国の人達と友達の和を広められてとっても良かったです。英語はまだそんなにペラペラではありませんが将来英語が話せるようにもっと勉強して、スタディーツアーに参加した友達との再会したりまたいろんな国際交流を深めて楽しく英会話出来たらいいと思います。



## 最高の思い出

宮古農林高2年

佐久田 智 世

私は沖縄が大好きです。今回ツアーに参加した事でこれまで以上に好きになりました。世界中にいるウチナンチュのみんなも、沖縄に愛着を持って誇りにしている事を感じました。

私は将来、沖縄で観光関係の仕事に付きたいと考えています。ツアーを通してみんなと、勉強、見学を経験し自信にもなりました。

リーダーという役割に不安で心細かった時に協力してくれたみなさんありがとうございました。改めて協力し合う事の大切さに気づきました。あと、無意識のうちに、海外の報道などに目を向けている私があります。

これから先もツアーで出会った友情を大切にしていきたいと思います。あと何年後かにみんなに会える日の事が楽しみです。

一生、忘れられない夏の最高の思い出になりました。



首里東高2年

川 口 真 未

1) あなたが考える沖縄の誇れるものを教えてください。(自然・文化・歴史・生活など)

やはり、琉舞やエイサーといった郷土芸能だと思います。海外の子どもたちもすごく興味をもって芸能に参加していたし、沖縄民謡もみんなで歌う事もでき、沖縄の芸能は素晴らしいと感じました。

2) 今回のツアーに参加した動機を教えてください。

国際交流に興味がありましたし、将来の夢の実現にも大きく影響すると思ったからです。

3) 平和祈念資料館を見学した時の感想を書いてください。

一番印象に残っているのは大きな仏様とその指先の上で輝いていた星です。あと、みんなの平和への気持ちが伝わるつるや文字はすごく感動しました。

4) 今回のツアーで学んだことや感じたことなどを書いてください。(生活の違い、友達、家族、その他)

やっぱり同じ歳でも外国の子たちは大人っぽかったです。ダンスパーティーもTVで見るとような感じでした。それに海外の子ども達は積極的で、それぞれ個性的な人達が多かったので、改めてこのツアーの意義を実感できた一週間でした。



### 大きいようで小さな世界

普天間高2年

池 原 理

僕は、ジュニアスタディーツアーに参加して、世界って大きいようで小さいなと思いました。それは、世界のいろんな国の人と友達になれたからです。

ツアーの中で、僕はダンスパーティーが一番楽しかったです。そして、スタッフの人が大人の見聞だけではなくて、子供の意見をどんどん取り入れてくれたことに感動しました。

僕は、スタディーツアーに参加するまで、なにが「英語は地球語イーン」って思っていたけど、ツアーに参加してとても英語の大切さがわかりました。あと、沖縄のことや外国のことがたくさん勉強できたので、とてもいい経験になったと思いました。

そして、このジュニアスタディーツアーでの、たくさんの思い出を大切に、ツアーで友達になったみんなと、これからもいつまでも友達でいたいです。



普天間高2年

宝蔵寺 祐 司

Jr スタディーツアーという企画に参加して初めのうちは、自分が中学・高校という過程で学習してきた英語が通じるかどうか不安でした。でも実際、海外の友達と話してみても、会話をすることができ、ホッとしました。なかには、通じない部分もあったけど、そこんところは、ジェスチャーでカバーすることができよかったです。そのほかにも、アメリカ以外の国の言葉も習うことができとてもいい経験になりました。

そして、このツアーが終わって、いまでは、ツアー中にアドレスを交換した、海外や県内の友達とメールのやりとりをして、そのメールを訳するのに苦しんでいる毎日です。そのおかげで、自分の英語力がアップしているのもとても嬉しいです。

できれば、このツアーに参加したメンバーで、今回以上のツアーをやりたいと思います。



### ジュニアスタディーツアーで学んだこと

宮古高3年

仲間 明 奈

私は、今回のジュニアスタディーツアーを通して、世界の様々な国の人と知り合う素敵なチャンスに恵まれました。最初の頃は、言葉の壁を感じたり、ホームシックにかかったりもしましたが、その中で、積極的に行動すること、自分の意見をはっきり伝えること、相手を理解することを学びました。また、共に沖縄の文化を学ぶことで、今までとは違った新しい沖縄が見えてきました。そして何よりもこのツアーでの一番の思い出は、たくさんの素晴らしい友人ができたことです。生活習慣や文化違っても、相手のことを知りたいと思う気持ちがあれば、お互いに通じ合えるということが分かりました。最後の皆との別れはとても辛かったけれど、どんなに離れていても、皆のことは絶対に忘れないと思います。このツアーでの経験を糧に、誇りあるウチナンチュとして、これからの未来を歩いていきたいです。



### 沖縄県人としての誇りを胸に

小禄高3年

茶 畑 美 加

今回のツアーに参加できた事、私はものすごく誇りに思っています。

言葉が通じなくても心は通じる。この事を初めて、このツアーの中で体験しました。

最初は思うように言葉が通じず辛くて、苦しかったけど、一週間という時を一緒に過ごすと、自然にお互いを思いやる気持ちが出てきて、目が合うと笑い合えるようになりました。そして、全く面識ない、スペイン語をしゃべる子ともジェスチャーを通じて会話をしたり、語ったりと今思い出すと、昨日の出来事のような気がして、何かくすぐったい気持ちになります。

今後は、今回のツアーで出来た友情を大切に、今回得た沖縄県人としての誇りを胸に、私自身も世界へ出て行きたいと思います。

I LOVE スタディーツアーメンバー・スタッフ

## ジュニアスタディーツアーに参加して（県内参加者）



小祿高3年  
新崎舞

私は、友達にさそわれてこのツアーに応募しました。

初め、グループの子は私と歳が離れていることを知って仲良くなれるかなとか話せるかなとかいろいろ不安で、一日目ですごい疲れました。

でも、だんだん話せるようになって、仲良くなって、しかも他のグループの子とも仲良くなって良かったです。

皆、遠い所に住んでいるからなかなか会えなくなるから、サヨナラパーティーの時も、見送りの時もすっごい悲しかったです。

たった一週間だけの交流会だったけど、別れるのが嫌だったって事は、それだけ仲良くなれた証拠だと思います。

私は、この交流会をムダにしないように、これからもずっと新しくできた友達と仲良くしていきたいです。



## ウチナンチュであるということ

南風原高3年  
比屋根恵美

私は今回、ジュニアスタディーツアーに参加でき、海外にも友達もでき最高の思い出を作ることができました。海外のメンバーと一緒に沖縄の文化であるエイサーと琉球舞踊を体験できたことはとても良かったです。

平和資料館では沖縄戦のビデオを見て改めて平和について考えることができました。

山原エコツアーではメンバーと共に一生懸命歩き、やっと滝にたどり着いた時にはとても感動的でした。そこで皆と一緒に食べた弁当は格別おいしかったです。

今回参加して沖縄の文化や歴史などさまざまな事を学ばせていただき大変貴重な体験をしました。改めて自分がウチナンチュであるということ意識することができました。

世界のウチナンチュ大会実行委員会の皆さん大変お世話になりました。感謝しています。楽しい思い出ありがとうございました。





## 最高の思い出

名護高3年

真 謝 絵 美

今回のジュニアスタディーツアーに参加して、私は今後の自分のやりたい事を見つけられました。私は、以前から英語が好きだったので、国際関係の事をもっと学びたかったのですが、進路の厳しい現実直面して、ほとんどあきらめていました。けれど今は、反対にやりたい事が多くなり、あきらめたくなくなるくらい事があっても、ツアー中に思うように英語で自分の気持ちを伝えられなかった分、もっと勉強して、まだ会いたいという気持ちで乗り越え、前向きに考える事ができるようになりました。

私は学生生活の最後にして、最高の思い出ができ、予想以上の友情もできました。この思い出は、これからの私の大きな励みになると思います。

本当にこのツアーでお世話になった方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



# 資料編

開講式・オリエンテーション概要

県内参加者募集概要

海外参加者募集概要 1・2

海外参加者名簿

県内参加者名簿

ジュニアスタディーツアーの評価と反省点

運営サイドの講評

協力団体名（ボランティア団体等）

制作物

関連記事

感想文人名別索引



## ■ 開講式・オリエンテーション概要

### 1. 目的

第3回世界のウチナンチュ大会「ジュニアスタディツアー」事業の目的を達成するために、オリエンテーションを通して県内代表または国の代表としての自覚を深め、団員としての資質の向上につとめる。

### 2. 主催

第3回世界のウチナンチュ大会実行委員会

### 3. 期日・場所

2001年7月23日 13:00～15:30 県立武道館

<開講式> 第一錬成道場

<オリエンテーション> 会議室・研修室

### 4. 開講式・式次第

- |           |                                     |
|-----------|-------------------------------------|
| ①開式のことば   | ……………司会者                            |
| ②開講のことば   | ……………実行委員会副会長 翁長 良盛 <sup>よしもり</sup> |
| ③学習ツールの贈呈 | ……………実行委員会副会長 翁長 良盛 <sup>よしもり</sup> |
| ④激励のことば   | ……………実行委員会会長 稲嶺 恵一 <sup>けいいち</sup>  |

### 5. オリエンテーションプログラム

- ①はじめに
- ②「ジュニアスタディツアー」事業概要説明
- ③「ジュニアスタディツアー」メンバー心がまえ
- ④日程説明
- ⑤関係者紹介
- ⑥注意事項
- ⑦クラス・班分け
- ⑧班長・副班長の選出
- ⑨引率者への説明

## ■ 県内参加者募集概要

1. 募集期間 2001年6月4日（月）～6月22日（金）
2. 募集人員 県内児童生徒 50名
3. 参加費 無料（集合地那覇市内までは、各自でお越し下さい。ただし、離島在住者は往復の船舶運賃または航空運賃を主催者が負担します。）
4. 参加資格 ◆沖縄県に在住する小学4年生以上高校3年生までの児童生徒  
◆保護者の参加承諾があり、かつ健康で集団生活が可能であること。
5. 申込方法 下記の書類を第3回世界ウチナンチュ大会実行委員会事務局宛に、郵送または持参して下さい。  
提出書類◆所定の参加申込書（写真添付）  
◆作文（ジュニアスタディツアーに期待することや、ツアーの中でどのような交流をしてみたいかなどを、400字詰め原稿用紙1枚程度に書いて下さい。）
6. 申込締切日 2001年6月22日（金） ※当日消印有効  
※大会実行委員会事務局受付時間 9：00～17：00（月～金）
7. 選考方法 選考委員会を設置し選定します。  
選考結果は、ハガキで本人に通知します。

### ●お問い合わせ・申し込み先●

第3回世界のウチナンチュ大会実行委員会事務局

☎900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2（沖縄県庁舎4階）

TEL098-866-2501 FAX098-866-2848

（大会ホームページ）<http://www.wuf3.com>

## ■ 海外参加者募集概要 - 1

### 1. 目的

21世紀の県系人社会を担う児童・生徒に母県の歴史・文化や現状の社会状況を学習体験させることにより、県人社会の発展に貢献するとともに、ウチナンチュのアイデンティティを継承し、ウチナンチュネットワークを担い、母県の掛け橋として活躍する人材の育成に資する。

### 2. 内容

子供たちに夢と希望を与えるものとし、アメリカ、カナダ、ペルー、ポリビア、ブラジル、アルゼンチン等の移住した県系人社会の児童生徒（小学校・中学校・高校）およそ50人程度及び引率者を本県に招待し、学習・体験・交流などを実施する。

### 3. 実施時期・期間

7月下旬～8月上旬（7日～10日間）

### 4. 参加者（児童生徒）

- ◆対象者：県系人の子弟であること。ただし、同一家族から2人以上の選定は避けてください。
- ◆対象年齢：年齢満10歳以上の小・中・高校在学学生を対象にします。
- ◆資格：健康で、集団生活が可能であること。
- ◆言語能力：特に限定しない。沖縄現地での通訳は実行委員会が手配します。
- ◆人数：(1) 別紙「参加候補者名簿」に優先順位をつけて参加希望者（上限10名）を登録して、ウチナンチュ大会実行委員会事務局に提出して下さい。  
(2) 予算に制限がありますので、他の各国県人会の応募状況により、大会事務局で県人会毎の参加人数を調整し参加出来る人数をお知らせします。  
(3) 引率者の人数については「引率者」の項を参照して下さい。
- ◆性別：特に限定はしませんが、他の条件が同じであれば、男女どちらかに偏ることのないよう配慮をお願い致します。
- ◆旅費：交通費（往復の航空運賃とツアー中の交通費）、宿泊費及び食費（全体宿泊の食費）を実行委員会が負担します。現地空港までの交通費及び宿泊費は負担対象外です。旅費などの支給方法は別途お知らせします。
- ◆スタディーツアー終了後の  
レポートの提出：参加者には、スタディーツアーが終了し、帰国した後、ツアーについてのレポートを提出して頂きます。

## 5. 引率者

- ◆役 割：引率者は、往復の旅程や沖縄滞在中、児童生徒の保護者としての役割を担います。
- ◆人 数：県人会が推薦する者で1人。
- ◆資 格 等：日本語能力があること及び教職経験者が望ましいですが、特に限定はしません。
- ◆旅 費：児童生徒と同様の取り扱いになります。



# 海外参加者名簿 1

	氏名	年齢	性別	国名	県人会名	引率者
1	与儀 エリカ (ERIKA YOGI)	13	女	ブラジル	ブラジル 沖縄県人会	松堂 ひろみ (ブラジル沖縄県人会)
2	太田 デオゴ (DIOGO TAKAKE OTA)	15	男			
3	知花 ムリロ (MURILLO CHIBANA)	13	男			
4	諸見里 春美 (KARINE HARUMI MOROMIZATO)	14	女			
5	崎間 ビクトル 達由鯉 (VICTORTA TSUYURI SAKIMA)	14	男			
6	宮里 昌宏 (MARCELO MASAHIRO MIYAZATO UETA)	16	男			
7	宮城 ガストン (GASTON MIYASHIRO)	16	男	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会	安里エステラ アレハンドラ (在亜沖縄県人連合会)
8	比嘉 フェルナルド (FERNANDO EZEQUIEL HIGA)	14	男			
9	玉那覇 ノルベルト (NORBERTO TAMANAHA)	14	男			
10	大城 ノエリア (NOELIA OSHIRO)	11	女			
11	伊芸 ヘラルド (GERALDO IGEI KOHATSU)	14	男	ペルー	ペルー沖縄県人会	Yoshinobu Nakasone (ペルー沖縄県人会)
12	亀甲 マサル (MASARU ARTURO KAMEGO)	17	男			
13	山城 イサベル (ISABEL YAMASHIRO NAKACHI)	10	女			
14	比嘉 盛繁 (HECTOR ALEXANDER HIGA SHIROMA)	17	男			
15	比嘉 恵理子 (ERIKA CAROLINA HIGA YAMASHIRO)	14	女	ボリビア	ボリビア 沖縄県人会	安谷屋 敬 (ボリビア沖縄県人会)
16	大城 ニカリ (NIKARI OSHIRO MURARA)	10	女			
17	中田 弘喜 (FERNANDO HIROKI NAKATA)	12	男			
18	仲村 美恵子 (MIEKO NAKAMURA SOKEI)	14	女			
19	仲村 ミツオ (JOSE MITSUO NAKAMURA OROZCO)	14	男	メキシコ	メキシコ 沖縄県人会	Irma Nunes Nakamura (メキシコ沖縄県人会)
20	仲村 ヤスヒロ (YASUHIRO NAKAMURA OROZCO)	13	男			
21	烏田 バグネル 和良 (WAGNER KAZUYOSHI SHIMADA)	17	男	ブラジル	カンボグランデ 沖縄県人会	具志堅 弘 (カンボグランデ沖縄県人会)
22	具志堅 ノブユキ (ANDERSON NOBUYUKI GUSHIKEN)	16	男			
23	古謝 景士 (RAUL KEISHI KOJA)	15	男	ベネズエラ	ベネズエラ 沖縄県人会	古謝 いそえ (ベネズエラ沖縄県人会)
24	宜保 亜由美 カレン (AYUMI KAREN GIBO)	14	女	カナダ	バンクーバー 沖縄友愛会	仲宗根 功 (バンクーバー沖縄県友愛会)
25	嶺井 真実 (MELISSA MAMI NINEI)	17	女			

# 海外参加者名簿 2

	氏名	年齢	性別	国名	県人会名	引率者
26	金城 茜 (MARGARET AKANE KINJO)	14	女	カナダ	レスブリッジ 沖縄県人会	浦崎 ジョージ (レスブリッジ沖縄県人会)
27	目取真 ジャネル ミホコ (JANELLE MIHOKO MEDORUMA)	14	女			
28	玉栄 チャールズ (CHARLES MASATOMO TAMAE)	11	男			
29	ジョセフ ジョーンズ (JOSEPH FREDRIC JONES)	15	男	アメリカ	北米沖縄県人会	前田 洋子 (北米沖縄県人会)
30	ブライアン デイビス (BRYAN KIYOSHI DAVIS)	16	男		サンディエゴ 沖縄県人会	
31	デイビット レイモンド (DAVID RICHARD RAYMOND)	10	男		ユタ州沖縄県人会	
32	アリシア 恵子 プレンズ (ALICIA KEIKO BERENZ)	16	女		ワシントン 沖縄県人会クラブ	Toshiko Bartley (ワシントン州沖縄県人会クラブ)
33	デイル リチャーズ (DALE KAORU RICHARDS)	16	男		シカゴ沖縄県人会	Yoko Sanderlin (シカゴ沖縄県人会)
34	ティファニー フィドラー (TIFFANY FIEDLER)	14	女		遊友会	
35	比嘉 龍児 (RYUJI HIGA)	16	男		オハイオ 沖縄友の会	
36	落合 北斗 (HOKUTO CREIG OCHIAI)	17	男		米国東海岸 沖縄県人会	
37	ロバート ファンチェス (ROBERT JAMES FUNCHES)	15	男		ニューヨーク 沖縄県人会	
38	ケイラ ケンプ (KAYLA RENEE CAMP)	14	女		ワシントンDC 沖縄県人会	ルイス 高江洲 佳代子 (アトランタ沖縄県人会)
39	アンディー ライダー (ANDY KIYOSHI RIDER)	12	男	アトランタ 沖縄県人会		
40	キム ビセット (KIM BISSETTE)	15	女	DFW沖縄県人会		
41	マイケル ハーカー (MICHAEL ALAN HARKA)	17	男	ジャクソンビル 沖縄県人会		
42	クリスタル スワンソン (CRYSTAL LYNN SWANSON)	11	女	フェイエットビル 沖縄県人会		
43	テレサ マリコ モートン (TERESA MARIKO MORTON)	18	女	ペンサコーラ 沖縄県人会		
44	クリストファー ポーティン (CHRISTOPHER PORTIN)	18	男	フロリダ 沖縄郷友会(がじまる会)	引率者無し	
45	マリア ジェイリン ディキアツコ (MA. JAYLYNC. DIQUIATCO)	15	女	グアム沖縄県人会		
46	チヨミ サンタローサ ランセス (CHIYOMI STA. ROSA RANCES)	14	女	フィリピン 沖縄県人会		トヨコ照屋エリセオ (フィリピン沖縄県人会)
47	嶋崎 妙恵美 (TAEMI SHIMAZAKI)	12	女			
48	知念 賢吾 (KENGO CHINEN)	16	男	フランス	フランス 沖縄県人会	知念 睦子 (フランス沖縄県人会)
49	石垣 優児 (YUJI JOE ISHIGAKI)	13	男	イギリス	イギリス 沖縄県人会	石垣 栄康 (イギリス沖縄県人会)
50	松川 ルカ (LUCA TOM MUSASHI MATSUKAWA)	10	男	ドイツ	ドイツ 沖縄県人会	松川 力 (ドイツ沖縄県人会)

# ■ 県内参加者名簿

	氏名	学年	性別	学校名	
1.	知名倫子	Rinko China	小4年	女	宜野座小学校
2	仲田尚仁	Naohito Nakada	小4年	男	南風原小学校
3	又吉椎菜	Shiina Matayoshi	小5年	女	漢那小学校
4	平良久美子	Kumiko Taira	小5年	女	志真志小学校
5	仲本達郎	Tatsuro Nakamoto	小5年	男	城西小学校
6	新垣史織	Shiori Arakaki	小5年	女	知念小学校
7	目取真輔	Tasuku Medoruma	小5年	男	北玉小学校
8	城間祥大	Shoudai Shiroma	小6年	男	若狭小学校
9	照屋寛佳	Hiroyoshi Teruya	小6年	男	城南小学校
10	玉城匠	Takumi Tamaki	中1年	男	コザ中学校
11	知念鈴奈	Suzuna Chinen	中1年	女	伊江中学校
12	仲間良成	Yoshinari Nakama	中1年	男	越来中学校
13	牧山梨紗	Risa Makiyama	中1年	女	沖繩尚学中学校
14	仲程祐介	Yusuke Nakahodo	中1年	男	古蔵中学校
15	成底徹	Toru Narisoko	中1年	男	港川中学校
16	仲里彩夏	Ayaka Nakazato	中1年	女	知念中学校
17	屋嘉比梢	Kozue Yakabi	中1年	女	東風平中学校
18	玉城彩衣	Ai Tamaki	中1年	女	那覇中 <small>女子</small> 校
19	松本佳子	Yoshiko Matsumoto	中1年	女	那覇中学校
20	東江真理子	Mariko Agarie	中2年	女	伊江中学校
21	与那嶺悠	Haruka Yonamine	中2年	男	伊良波中学校
22	古謝ちひろ	Chihiro Koja	中2年	女	嘉手納中学校
23	比嘉紗苗	Sanae Higa	中2年	女	鏡が丘養護学校
24	仲程若菜	Wakana Nakahodo	中2年	女	古蔵中学校
25	平田吉郎	Yoshiro Hirata	中2年	男	佐敷中学校
26	比嘉彩賀	Ayaka Higa	中2年	女	松城中学校
27	比嘉亜樹	Aki Higa	中2年	女	興南中学校
28	古堅葵	Aoi Furugen	中3年	女	安田中学校
29	佐久川俊介	Shunsuke Sakugawa	中3年	男	沖尚中学校
30	謝花千夏	Chinatsu Jahana	中3年	女	宮里中学校
31	普天間一樹	Kazuki Futenma	中3年	男	小禄中学校
32	与那覇優香	Yuka Tamanaha	中3年	女	西原東中学校
33	宮城鮎子	Ayuko Mayagi	中3年	女	西原東中学校
34	高田真奈美	Manami Takada	高1年	女	小禄高等学校
35	翁長里美	Satomi Onaga	高1年	女	小禄高等学校
36	上原恵理佳	Erika Uehara	高1年	女	昭和薬科付属高校
37	与那覇恵梨	Eri Yonaha	高1年	女	石川高等学校
38	德里麗華	Reika Tokuzato	高1年	女	石川高等学校
39	中村晴枝	Harue Nakamura	高1年	女	那覇国際高校
40	伊計美希	Miki Ikei	高2年	女	宮古 <small>市内</small> 校
41	仲宗根智世	Tomoyo Nakasone	高2年	女	宮古農林高校
42	佐久田智世	Tomoyo Sakuda	高2年	女	宮古農林高校
43	川口真未	Mami Kawaguchi	高2年	女	首里東高等学校
44	池原理一	Riichi Ikehara	高2年	男	普天間高校
45	宝蔵寺祐司	Yuji Hozoji	高2年	男	普天間高校
46	仲間明奈	Akina Nakama	高3年	女	宮古高校
47	茶畑美加	Mika Chabata	高3年	女	小禄高校
48	新崎舞	Mai Arasaki	高3年	女	小禄高校
49	比屋根恵美	Megumi Hiyane	高3年	女	南風原高校
50	真謝絵美	Emi Maja	高3年	女	名護高校

## ■ ジュニアスタディーツアーの評価と反省点

ウチナンチュアイデンティティーの継承など、大きな成果を挙げたジュニアスタディーツアーであったが、世界のウチナンチュ大会のイベントとしてはじめての事業であったため、以下に掲げるような反省点などもいくつか指摘された。

今後、継続してこの事業を実施していくにあたっては、これらの反省点等を踏まえ、より効果的で優れた事業に育てていく必要がある。

### ○ 評価点

- (1) 海外県系人子弟の沖縄に対する理解とふるさと沖縄とのきずなを深め、アイデンティティーの継承に貢献できたこと。
- (2) 県内児童生徒との交流を通じて、若い世代の国際ネットワーク形成発展につなげることができたこと。
- (3) 参加児童生徒の国際的視野を広げ、将来の国際交流を担う人材の育成が図られたこと。
- (4) 世界のウチナンチュ大会の県民への周知と本大会への機運の醸成が図られたこと。

### ○ 反省点

- (1) 海外からは参加希望者が大変多いので、人選にあたっては、長い時間をかけてより厳密に参加者を決定する必要がある。
- (2) バスの配車計画が毎日異なるので出発に時間がかかった。
- (3) 参加者の数が多く全員に指示連絡が届きにくいいため、ボードを使うなどの工夫が必要ではないか。
- (4) スケジュールが窮屈で、あわただしい感じがある。また、海外からの長旅に配慮し、一日程度休養させてから学習スケジュールを開始したほうがよい。
- (5) ウーロン茶などが飲み物として支給されたが、北米・南米の子供達は甘いものを好む傾向があるため、飲み物が多く余ってしまった。また、国によっては昼食をとる時間帯が違っているので、おやつなどを出すなどの対応が望まれた。
- (6) 食事はもっとバラエティーのあるメニュー（バイキング形式など）にした方が好き嫌いや宗教上の制限にも対応できるのではないか。
- (7) 参加者が10歳から18歳と幅があるため、学習スケジュールや方法のあり方などで年齢の焦点を合わせにくい面があった。
- (8) ゲームやスポーツを通しての交流プログラムを入れるべきである。また、伝統芸能体験に関しては、もっと時間をとってできないかという意見が父兄や引率者からあった。
- (9) ツアーのあとでも子供達同士の交流が継続できるような工夫ができないか。近隣の国同士でホームステイの交換をするなども一つの方法である。

## ■ 協力団体

### 協力団体

項 目	団 体 名
■那覇市街地散策	(那覇市観光ボランティア街角ガイド)
■那覇市街地散策 補助	(那覇国際高校国際科)
■ウエルカムパーティー	(沖縄尚学高校地域国際交流研究クラブ)
■歴史学習	(沖縄県立博物館)
■首里城公園見学	(那覇市教育委員会指導部文化課文化財係)
■平和学習	(沖縄県立平和祈念資料館)
■文化芸能体験	(南都ワールド(株))
■文化芸能体験：空手	(南風原高等学校郷土芸能コース)
■文化芸能体験：三線	(琉球古典音楽野村流統弦会)
■文化芸能体験：琉球舞踊	(玉城流扇寿会 上門加代子琉舞道場)
■エイサー	(玉泉洞王国村・真南風)
■ピーチレク	(国際リゾートスポーツ科学専門学校)
■やんばるエコツアー	(沖縄県立博物館)
■やんばるエコツアー	(沖縄国際大学)
■やんばるエコツアー	(やんばる野生生物保護センター)
■やんばるエコツアー	(国頭エコツアー協議会)
■やんばるエコツアー	(東村エコツーリズム協会)
■今帰仁城址見学	(今帰仁歴史文化センター)

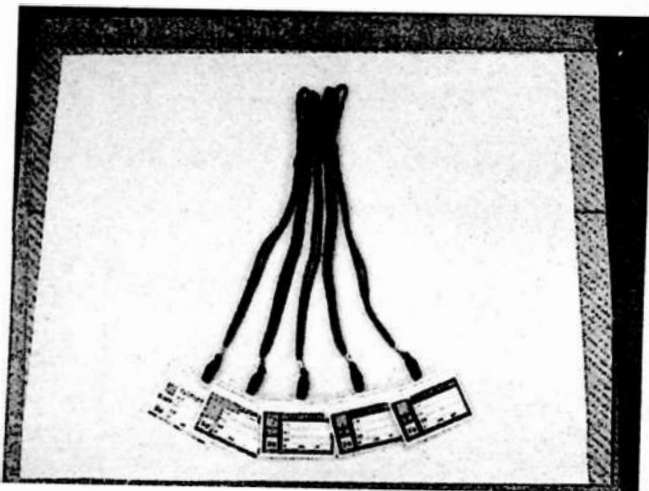
■ 制作物



県内募集要項



ウェルカムボード



ネームプレート



学習ツールケース (シール付)

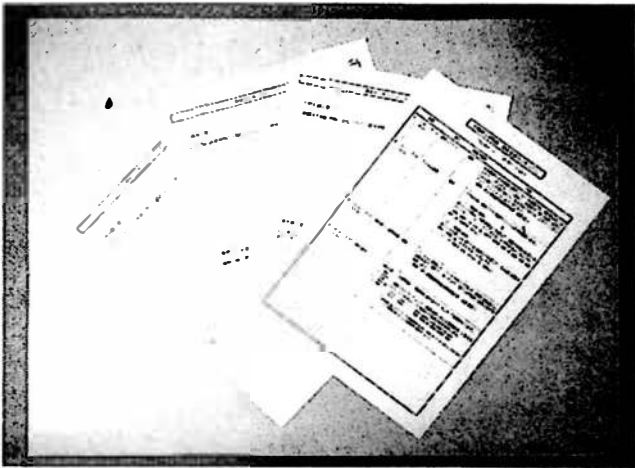


各国ガイドブック



Tシャツ

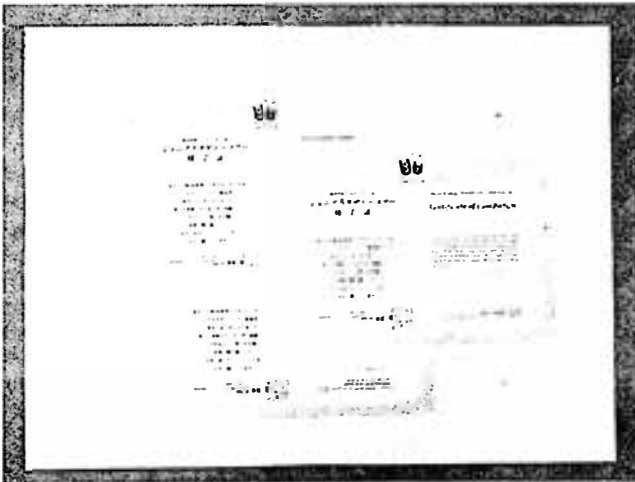
■ 制作物



歴史学習カリキュラム



記念アルバム



修了証



記念アルバムのビデオテープ



引率者への感謝状



実施運営マニュアル

## 県内児童と交流へ

スタディーツアー一行来沖



十一月に開催される第... 三回世界のウチナンチュ大会(主催・同実行委)に海外から参加する児童のプレイベントと供たち五十人が二十一、二日の両日、沖縄に到着し、県内の児童、生徒と交流する。県内の児童、生徒と交流する。県内の児童、生徒と交流する。

琉球新報朝刊

2001. 7. 23

ウチナンチュ大会 Jr スタディーツアー開講



## 12カ国の児童らと交流

十一月の第三回世界のプレイベント「ジュニアスタディーツアー」開講式と

琉球新報朝刊

2001. 7. 24

外の人の子ともたちを招待し、交流を通して県人社会の発展とネットワークを築くことを目的とする。中津米六カ国から二十一人、北米二カ国から二十一人、フィリピンと欧州三カ国からそれぞれ三人ずつ計五十人が参加。県内の児童生徒ら五十人と混合の班を組み、沖縄の自然、歴史、文化や平和について一週間の研修。熟知事は一行を歓迎、「自然や歴史に終り、三十日に帰国する」とあいさつした。カナダのレスブリッジから参加した中学生、金城善吉(八)は「沖縄は五回目。海が大好き。今回は首里城を見たい。友達をたくさん作りたい」と笑顔で話した。

## エイサーに初挑戦

ジュニアスタディーツアー

県内で文化や自然を学ぶ

第三回世界のウチナンチュ大会を前に県内で、児童生徒たちは見聞と文化や自然などの体験学習を重ねて太鼓の打ち方を学ぶ。ジュニアスタディーツアーの一行は二十を学んだ。初めは戸惑い、六日、玉城村の玉泉洞王宮でエイサーに挑戦し、練習の終わりに行われた。



初めてのエイサーを踊るジュニアスタディーツアーの子供たち。玉泉洞王宮村

が自分の考えを伝えようとする。最初は戸惑い、六日、玉城村の玉泉洞王宮でエイサーに挑戦し、練習の終わりに行われた。

琉球新報朝刊

2001. 7. 27





海外からの参加者と選手、関係者らと懇話会（左）那覇市・国立成金館

## 沖縄学び友情育てて

ジュニアスタディーツアー開幕

世界のウチナーンチュ大会で今年初のジュニアスタディーツアーが、那覇市・国立成金館で開幕した。海外からの参加者と選手、関係者らと懇話会（左）那覇市・国立成金館



ジュニアスタディーツアーは、海外からの参加者と選手、関係者らと懇話会（左）那覇市・国立成金館

沖縄タイムス朝刊  
2001. 7. 24



## 沖縄のきぎずな強く

ジュニアスタディーツアー

沖縄のきぎずな強く、海外からの参加者と選手、関係者らと懇話会（左）那覇市・国立成金館

世界のウチナーンチュ大会で今年初のジュニアスタディーツアーが、那覇市・国立成金館で開幕した。海外からの参加者と選手、関係者らと懇話会（左）那覇市・国立成金館

琉球新報朝刊  
2001. 7. 30



「沖縄最高！」旗を掲げてきぎずなを想った参加者の笑顔＝那覇市・パシフィックホテル前

世界のウチナーンチュ大会で今年初のジュニアスタディーツアーが、那覇市・国立成金館で開幕した。海外からの参加者と選手、関係者らと懇話会（左）那覇市・国立成金館

## きぎずな深めたよ

スタディーツアー終了式

世界のウチナーンチュ大会で今年初のジュニアスタディーツアーが、那覇市・国立成金館で開幕した。海外からの参加者と選手、関係者らと懇話会（左）那覇市・国立成金館

沖縄タイムス朝刊  
2001. 7. 30

○ 感想文人名別索引 ○

海外参加者

- |                                                          |                                                         |
|----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 与儀 エリカ (ブラジル) ..... P39<br>ERIKA YOGI                    | 金城 茜 (カナダ) ..... P61<br>MARGARET AKANE KINJO            |
| 大田 チオゴ (ブラジル) ..... P40<br>DIOGO TAKAKE OTA              | 目取真 ジャネル (カナダ) ..... P62<br>JANELLE MIHOKO MEDORUMA     |
| 知花 ムリロ (ブラジル) ..... P41<br>MURILLO CHIBANA               | 玉栄 チャールズ (アメリカ) ..... P63<br>CHARLES MASATOMO TAMAE     |
| 崎間 ビクトル 達由鯉 (ブラジル) ... P42<br>VICTOR TATSUYURI SAKIMA    | デイビッド レイモンド (アメリカ) P63<br>DAVID RICHARD RAYMOND         |
| 諸見里 春美 (ブラジル) ..... P43<br>KARINE HARUMI MOROMIZATO      | ジョセフ ジョーンズ (アメリカ) P64<br>JOSEPH FREDRIC JONES           |
| 宮里 昌宏 (ブラジル) ..... P44<br>MARCELO MASAHIRO MIYAZATO UETA | ブライアン デイビス (アメリカ) P64<br>BRYAN KIYOSHI DAVIS            |
| 具志堅 ノブユキ (ブラジル) ..... P44<br>ANDERSON NOBUYUKI GUSHIKEN  | ティファニー フィドラー (アメリカ) P65<br>TIFFANY FIEDLER              |
| 島田 バグネル 和良 (ブラジル) ..... P45<br>WAGNER KAZUYOSHI SHIMADA  | 比嘉 龍児 (アメリカ) ..... P66<br>RYUJI HIGA                    |
| 玉那覇 ノルベルト (アルゼンチン) ... P46<br>NORBERTO TAMANAHA          | 落合 北斗 (アメリカ) ..... P67<br>HOKUTO CRAIG OCHAI            |
| 比嘉 フェルナンド (アルゼンチン) ... P46<br>FERNANDO EZEQUIEL HIGA     | ケイラ ケンプ (アメリカ) ..... P68<br>KAYLA RENEE CAMP            |
| 宮城 ガストン (アルゼンチン) ..... P47<br>GASTON MIYASHIRO           | ロバート ファンチェス (アメリカ) P68<br>ROBERT JAMES FUNCHES          |
| 伊芸 ヘラルド (ペルー) ..... P48<br>GERALDO IGEI KOHATSU          | アンディー ライダー (アメリカ) ... P69<br>ANDY KIYOSHI RIDER         |
| 山城 イサベル (ペルー) ..... P48<br>ISABEL YAMASHIRO NAKACHI      | キム ビセット (アメリカ) ..... P70<br>KIM BISSETTE                |
| 大城 ノエリア (アルゼンチン) ..... P49<br>NOELIA OSHIRO              | クリスタル スワンソン (アメリカ) P71<br>CRYSTAL LYNN SWANSON          |
| 比嘉 盛繁 (ペルー) ..... P50<br>HECTOR ALEXANDER HIGA SHIROMA   | テレサ マリコ モートン (アメリカ) P72<br>TERESA MARIKO MORTON         |
| 亀甲 マサル (ペルー) ..... P50<br>MASARU ARTURO KAMEGO KAMEKO    | クリストファー ポーティン (アメリカ) P73<br>CHRISTOPHOR TUBIERA PORTIN  |
| 比嘉 恵理子 (ポリビア) ..... P51<br>ERIKO CAROLINE HIGA YAMASHIRO | アリシア 恵子 ブレンズ (アメリカ) P74<br>ALICIA KEIKO BERENZ          |
| 大城 ニカリ (ポリビア) ..... P52<br>NIKARI OSHIRO MURARA          | マイケル ハーカー (アメリカ) ... P75<br>MICHAEL ALAN HARKA          |
| 中田 弘喜 (ポリビア) ..... P52<br>FERNANDO HIROKI NAKATA         | 嶋崎 妙美 (フィリピン) ..... P76<br>TAEMI SHIMAZAKI              |
| 仲村 美恵子 (ポリビア) ..... P53<br>MIEKO NAKAMURA SOKEI          | デイル リチャーズ (アメリカ) ... P77<br>DALE KAORU RICHARDS         |
| 古謝 景士 (ベネズエラ) ..... P54<br>RAUL KEISHI KOJA              | チヨミ サンタローサ ランセス (フィリピン) P78<br>CHIYOMI STA. ROSA RANCES |
| 仲村 ヤスヒロ (メキシコ) ..... P55<br>YASUHIRO NAKAMURA OROZCO     | マリア ジェイリン ディキアツコ (フィリピン) P80<br>MA. JAYLYN C. DIQUIATCO |
| 仲村 ミツオ (メキシコ) ..... P56<br>JOSE MITSUO NAKAMURA OROZCO   | 知念 賢吾 (フランス) ..... P80<br>KENGO CHINEN                  |
| 横井 真美 (カナダ) ..... P58<br>MELISSA MAMI MINEI              | 石垣 優児 (イギリス) ..... P81<br>YUJI JOE ISHIGAKI             |
| 宜保 亜由美 カレン (カナダ) ..... P60<br>AYUMI KAREN GIBO           | 松川 ルカ (ドイツ) ..... P82<br>LUCA TOM MJSASHI MATSUKAWA     |

# ○ 感想文人名別索引 ○

## 県内参加者

知名 倫子 (宜野座小4年) ..... P83 RINKO CHINA	比嘉 亜樹 (興南中2年) ..... P96 AKI HIGA
又吉 椎菜 (漢那小5年) ..... P83 SHIINA MATAYOSHI	古堅 葵 (安田中3年) ..... P96 AOI FURUGEN
仲田 尚仁 (南風原小4年) ..... P84 NAOHITO NAKADA	佐久川 俊介 (沖縄尚学中3年) ... P97 SHUNSUKE SAKUGAWA
平良 久美子 (志真志小5年) ..... P84 KUMIKO TAIRA	謝花 千夏 (宮里中3年) ..... P97 CHIINATSU JAHANA
仲本 達郎 (城西小5年) ..... P85 TATSURO NAKAMOTO	普天間 一樹 (小禄中3年) ..... P98 KAZUKI FUTENMA
新垣 史織 (知念小5年) ..... P85 SHIORI ARAKAKI	玉那覇 優香 (西原東中3年) ..... P98 YUKA TAMANAHA
目取真 輔 (北玉小5年) ..... P86 TASUKU MEDORUMA	宮城 鮎子 (西原東中3年) ..... P99 AYUKO MIYAGI
城間 祥大 (若狭小6年) ..... P86 SHOK'DAI SHIRONA	高田 真奈美 (小禄高1年) ..... P99 MANAMI TAKADA
照屋 寛佳 (城南小6年) ..... P87 HIROYOSHI TERUYA	上原 恵里佳 (昭和薬科付属高1年) P100 ERIKA UENARA
知念 鈴奈 (伊江中1年) ..... P88 SUZUNA CHINEN	与那覇 恵梨 (石川高1年) ..... P100 ERI YONAHA
仲間 良成 (越来中1年) ..... P88 YOSHINARI NAKAMA	德里 麗華 (石川高1年) ..... P101 REIKA TOKUZATO
牧山 梨紗 (沖縄尚学中1年) ..... P89 RISA MAKIYAMA	中村 晴枝 (那覇国際高1年) ..... P101 HARUE NAKAMURA
仲程 祐介 (古蔵中1年) ..... P89 YUSUKE NAKAHODO	伊計 美希 (宮古高2年) ..... P102 MIKI IKEI
成底 徹 (港川中1年) ..... P90 TORU NARISOKO	仲宗根 智世 (宮古農林高2年) ... P102 TOMOYO NAKASONE
仲里 彩夏 (知念中1年) ..... P90 AYAKA NAKAZATO	佐久田 智世 (宮古農林高2年) ... P103 TOMOYO SAKUDA
屋嘉比 梢 (東風平中1年) ..... P91 KOZUE YAKABI	川口 真未 (首里東高2年) ..... P103 MAMI KAWAGUCHI
玉城 彩衣 (那覇中1年) ..... P91 AI TAMAKI	池原 理一 (普天間高2年) ..... P104 RIICHI IKEHARA
松本 佳子 (那覇中1年) ..... P92 YOSHIKO MATSUMOTO	宝蔵寺 祐司 (普天間高2年) ..... P104 YUJI HOZOJI
東江 真理子 (伊江中2年) ..... P92 MARIKO AGARIE	仲間 明奈 (宮古高3年) ..... P105 AKINA NAKAMA
与那覇 悠 (伊良波中2年) ..... P93 HARUKA YONAHA	茶畑 美加 (小禄高3年) ..... P105 MIKA CHABATA
古謝 ちひろ (嘉手納中2年) ..... P93 CHIIHIRO KOJA	新崎 舞 (小禄高3年) ..... P106 MAI ARASAKI
比嘉 紗苗 (鏡が丘養護学校中2年) ... P94 SANAЕ HIGA	比屋根 恵美 (南風原高3年) ..... P106 MEGUMI HIYANE
仲程 若菜 (古蔵中2年) ..... P94 WAKANA NAKAHODO	真謝 絵美 (名護高3年) ..... P107 EMI MAJA
平田 吉郎 (佐敷中2年) ..... P95 YOSHIRO HIRATA	
比嘉 彩賀 (松城中2年) ..... P95 AYAKA HIGA	

**第3回世界のウチナーンチュ大会  
ジュニアスターディー報告書**

---

発行 2001年(平成13年)9月  
発行者 沖縄県第3回世界のウチナーンチュ大会実行委員会  
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2  
TEL (098) 866-2501 FAX (098) 866-2848

---



